

平成20年8月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年7月15日

上場会社名 株式会社鉄人化計画 上場取引所 東証マザーズ
 コード番号 2404 URL <http://www.tetsujin.ne.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)日野 洋一
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)浦野 敏男 TEL (03)5773-9184

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年8月期第3四半期の連結業績 (平成19年9月1日～平成20年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年8月期第3四半期	5,399	5.0	533	65.2	493	74.7	115	129.0
19年8月期第3四半期	5,142	11.2	322	—	282	—	50	—
19年8月期	6,840	—	413	—	364	—	55	—

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年8月期第3四半期	3,498	92	—	—
19年8月期第3四半期	1,528	28	1,518	50
19年8月期	1,665	66	1,656	34

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年8月期第3四半期	5,826		1,638		28.1	49,534	59	
19年8月期第3四半期	5,739		1,532		26.7	46,337	44	
19年8月期	5,676		1,539		27.1	46,564	07	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年8月期第3四半期	578	△409	92	1,218
19年8月期第3四半期	658	△350	△357	905
19年8月期	875	△312	△561	956

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年8月期	—	—	500	00	500	00
20年8月期	—	—	—	—		
20年8月期(予想)	—	—	750	00	750	00

3. 平成20年8月期の連結業績予想 (平成19年9月1日～平成20年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	7,123	4.1	576	39.5	516	41.8	105	90.8	3,177	26

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成基準 : 中間連結財務諸表作成基準
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- (4) 会計監査人の関与 : 有

四半期財務諸表については、東京証券取引所の「有価証券上場規程施行規則」の別添に定められている「四半期財務諸表等に対する意見表明に係る基準」に基づく意見表明のための手続きを受けております。

5. 個別業績の概要（平成19年9月1日～平成20年5月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年8月期第3四半期	4,650	5.5	531	72.5	500	75.7	138	79.8
19年8月期第3四半期	4,406	7.5	308	—	284	—	76	—
19年8月期	5,860	—	389	—	360	—	95	—

	1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭
20年8月期第3四半期	4,184	13
19年8月期第3四半期	2,326	67
19年8月期	2,902	69

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年8月期第3四半期	5,637	1,726	30.6	52,204	11
19年8月期第3四半期	5,566	1,583	28.4	47,881	75
19年8月期	5,524	1,605	29.1	48,554	28

6. 平成20年8月期の個別業績予想（平成19年9月1日～平成20年8月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	6,078	3.7	567	45.5	520	44.2	140	46.7	4,258	74

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
 なお、上記予想に関する事項は添付資料の7ページ「3. 業績予想に関する定性的情報」を参照して下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績を背景に設備投資の増加など景気の拡大傾向が持続するものと期待されておりましたが、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安から株価は大きく下落し、為替は急激な円高ドル安となるなど、後半は景気減速感が強まりました。また、厳格化した改正建築基準法の影響による建築着工件数の減少、原油等原材料価格の高騰も先行きに対する不透明感を増しております。

当社グループが主力事業を展開するカラオケルーム業界におきましては、2006年のカラオケ参加人口が約4,290万人と推測され（レジャー白書2007）微減傾向となっており、レジャー産業全体の多様化と消費者の娯楽ニーズの変化の中で、中小カラオケ店は淘汰されつつあり、大手カラオケチェーン店同士の競争は激しさを増しております。

こうした状況の下、大手カラオケチェーン店は、既存店のブラッシュアップに注力し、フードメニューの刷新や社員教育の徹底と接客サービスの強化等の集客増に向けた取組みを積極的に実施するとともに、内部体制を強化するなど事業の効率化に取り組んでおります。また、スクラップ&ビルド若しくは既存店のリニューアルや飲食店舗との複合化などの積極的な推進を行っております。

ビリヤード・ダーツ遊技場を運営する業界におきましては、ビリヤード業界は、依然として低迷から回復の兆候が見えずにありますが、ダーツ業界は、デジタルダーツ遊技機の高い人気が続いており、また、同機器の供給が増えたため、バースタイルの小型店舗を中心とした出店が見受けられるようになりました。競合店では、ライトユーザーの囲い込みを想定したダーツトーナメントを頻繁に開催するなど積極的な営業活動に取り組んでいます。

まんが喫茶（複合カフェ）業界におきましては、当業界への参入障壁の低さから新規出店が加速し、市場規模が2,000億円に迫る勢いで成長を続けておりましたが、ここにきて出店ペースが急激に落ち、成熟期に入ったとの見方も出てきており、今後はスクラップ&ビルド若しくは企業のM&Aが徐々に進んでいくものと思われまます。各企業は、更なるコンテンツの多様化や新たな業態との複合化の研究を進めており、お客様のニーズに対応した取組みが求められており、当業界における競争は更に激化しております。

フルサービス型珈琲ショップを運営する喫茶業界におきましては、運営する形態によりコーヒーショップ（更に、高価格型、低価格型、多毛作型に分類される）と喫茶店・コーヒー専門店に分類され、その市場規模は2007年において約1兆571億円（外食産業統計資料集）で前年並（前年増減率0.0%）と推測されております。コーヒーショップはセルフサービス型の店舗が多く、市場全体に対し店舗数で約3%、市場規模で約22%程度であり、近年ではコーヒー中心の提供からフードを充実させた展開を図っており、市場規模は微増傾向にあります。一方、フルサービス型の喫茶店・コーヒー専門店は、店舗数・市場規模で全体の大部分を占めておりますが、いずれも長期的に減少傾向にあります。

音源販売におけるモバイル・コンテンツ業界におきましては、2006年の市場規模が約3,661億円（前年比16%増）と推測され、その主なものは着信メロディ843億円（前年比20%減）、着うた®系759億円（前年比35%増）、モバイルゲーム748億円（前年比27%増）となっております。

基本的要因でありますプラットホームの状況は、携帯電話契約数の80%が第3世代端末となり、同時に定額制ユーザーも全体の30%を超える環境となりました。これに伴いリッチコンテンツの市場は新しいサービスの立ち上げも見込めるため、今後も拡大していくものと考えられます。

着信メロディに関しては、着信音の利用スタイルが大幅に変化したことで、モバイル・コンテンツサービスのユーザーニーズに劇的な変化が起こっており、着信メロディのダウンロード数は減少してきております。（ケータイ白書2008）

このような経済情勢及び業界動向にあつて、当社グループは、主力事業でありますカラオケルーム運営事業に注力し、鉄人システム向けの新たなコンテンツの開発・制作を進めるとともに、首都圏でのシェア拡大を図るため、中小規模店舗対応の鉄人システム（ミニ鉄人システム）を設備したカラオケ店舗（20ルーム前後の規模）の出店を積極的に行つてまいりました。一方、店舗運営におきましては、お客様の目線に立ったサービスの向上に取り組まれました。

また、前期より開始いたしましたモバイルコンテンツのASPサービス※や商業サイト向け着信メロディ、着うた®等の供給サービス事業を積極的に推進いたしました。

※ASPサービスとは、業務用アプリケーションソフトをインターネットを利用して、顧客にレンタルするサービスをいいます。

（注）「着うた®」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標であります。

また、当社グループは、景気減速の見通しの中、今後の経営基盤の強化のために、既存店のリニューアルによる効率化及び収益力の向上とお客様の支持をより一層獲得する施策として、いわゆるスクラップ&ビルドを積極的に行うことにより214百万円の減損損失を計上いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間の業績は、売上高5,399百万円（前年同期比5.0%増）、経常利益493百万円（前年同期比74.7%増）、第3四半期純利益115百万円（前年同期比129.0%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

なお、以下の売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

（カラオケルーム運営事業）

当事業におきましては、ミニ鉄人システムを設備したカラオケ店舗2店（「カラオケの鉄人大井町店」、「カラオケの鉄人中央林間店」）の新規出店を実施し、当第3四半期連結会計期間の直営店は32店舗となりました。また、収益性を改善すべく店舗の改装2店舗（「カラオケの鉄人大宮店」、「カラオケの鉄人川越店」）を実施いたしました。

営業面におきましては、比較可能な既存店※の売上高は、前年同期比100.7%となり、ミニ鉄人システムを設備した中型店舗の業績が引き続き好調に推移いたしました。また、独自のQMSC（Qクオリティ&Mメンテナンス：設備の品質、Sサービス：おもてなし、Cクレンリネス：清潔な環境）を実施し、顧客満足度向上に向けてお客様の目線に立ったサービスの確立に取り組んでおります。

設備面におきましては、鉄人システムの「カラ鉄NAVI」をバージョンアップし、楽曲のサビ部分の試聴機能など、新たなコンテンツのサービスを開始いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は4,107百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は854百万円（前年同期比34.0%増）となりました。

※比較可能な既存店とは、営業開始後12ヶ月を経過して営業を営んでいる店舗で前年対比が可能なものをいいます。

（ビリヤード・ダーツ遊技場運営事業）

当事業におきましては、近隣におけるバースタイル業態での競合店の出店が増加したことを受け、引き続き人気の高いデジタルダーツ遊技機に加え、アミューズメント遊技機を増設するなどアミューズメント性を強調した店舗運営を行ってまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は304百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は61百万円（前年同期比56.5%増）となりました。

（まんが喫茶（複合カフェ）運営事業）

当事業におきましては、当社グループの出店地域における競合店の多数出店による影響で、引続き競争が激化しており業績は伸び悩んでおります。

営業面におきましては、店舗の鮮度を演出するにあたり毎月全店舗においてイベントを実施するとともに、コミックの品揃えや陳列方法の強化及び業界最高水準のハイスペックPCの設備投資を図り、人気の高いネットゲームを導入し、お客様の利便性に配慮した運営を行ってまいりました。なお、業績の改善が困難と判断した1店舗（千葉中央店）を閉店したことにより売上高は減少したものの、利益面では大幅に改善、黒字転換となりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は262百万円（前年同期比22.2%減）、営業利益は9百万円（前年同期営業損失45百万円）となりました。

（フルサービス型珈琲ショップ運営事業）

当事業におきましては、京阪神地区において「からふね屋珈琲店」の屋号でフルサービス型珈琲ショップとして11店舗の運営を行ってまいりましたが、京都の中心繁華街に「からふね屋珈琲店・本店」の名称で12店舗目を開店いたしました。

一部の店舗におきましては、新商品であるパフェをメニューに新規導入し、150種類以上のバリエーションでのサービスを開始いたしました。昨年末に出店いたしました「本店」におきましては、豊富なパフェメニューが各メディア（雑誌・TV等）で取り上げられるなど話題性が提供され、売上の拡大に寄与いたしました。しかしながら出店に係るイニシャルコスト等が利益面で影響を及ぼしました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は454百万円（前年同期比22.9%増）、営業損失は22百万円（前年同期営業利益0百万円）となりました。

（音響設備販売事業）

当事業におきましては、カラオケ機器及び周辺機器の販売並びに同機器のメンテナンス業務を行ってまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は234百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は8百万円（前年同期営業損失14百万円）となりました。

(音源販売事業)

当事業におきましては、携帯電話用コンテンツプロバイダ向けの着信メロディ・着うた[®]音源の制作及び販売をいたしました。また、前連結会計期間より新たなビジネスとして開始いたしましたコンテンツ配信ASPサービスや商業サイト向け着信メロディ、着うた[®]等の供給サービスの拡販に取り組んだ結果、多数の企業様にご利用頂くこととなりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は159百万円（前年同期比22.0%増）、営業利益は3百万円（前年同期営業損失11百万円）となりました。

(その他の事業)

当事業におきましては、「鉄人システム」のレンタルを行いました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は6百万円（前年同期比36.6%減）、営業利益は2百万円（前年同期比58.1%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計は、5,826百万円となり、前連結会計年度末と比較して149百万円増加いたしました。

流動資産は、1,774百万円となり、同324百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加263百万円によるものであります。固定資産は4,051百万円となり、同175百万円減少いたしました。主な要因は、店舗設備の減損による減少214百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は4,188百万円となり、前連結会計年度末と比較して51百万円増加いたしました。主な要因は、長期・短期借入金の増加79百万円、社債の増加35百万円によるものと、未払金の減少75百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、1,638百万円となり、前連結会計年度末と比較して98百万円増加しております。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、1,218百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、578百万円となりました。収入の主な内訳は税金等調整前第3四半期純利益255百万円、減価償却費232百万円及び減損損失214百万円によるものであり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額195百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、409百万円となりました。これは主に新規出店等に伴う有形固定資産の取得371百万円及び店舗入居保証金の差入れによる支出79百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、92百万円となりました。これは主に、借入金及び社債の発行によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当社グループの業績は、その事業規模からカラオケルーム運営事業に大きく依存しております。カラオケルーム運営事業は、忘年会等が行われる時期を含む第2四半期と歓送迎会等が行われる時期を含む第3四半期に売上が偏重する傾向があります。したがって、四半期及び中間期の業績が必ずしも通期の業績に連動するとは限りません。

以上のことを踏まえまして、平成20年8月期の業績予測につきましては、以下のとおりであります。

当第3四半期における業績は、当社グループの中核的な事業であるカラオケルーム運営事業において前期より積極的に推進している「ミニ鉄人システム」での中小型店舗の出店成果と減損を伴いながらも収益性を重視して商圈規模に適応させた既存店のリニューアルの成果により売上高規模は前年同期並みであるにもかかわらず営業利益が前年同期比216百万円増（同34.0%増）と利益面で大幅に成長いたしました。また、他の店舗運営事業におきましても店舗運営の効率性を重視した取組みにより利益面で改善が図られました。

通期業績につきましても、引続き順調に推移すると見込まれますが、急速な天然資源・原材料高や円高、株安を背景とした景気の減速傾向への懸念と北京オリンピックによる集客への影響を考慮し、当期の業績見通しにつきましては、売上高7,123百万円（前年同期比4.1%増）、経常利益516百万円（同41.8%増）、当期純利益105百万円（同90.8%増）を見込んでおります。

※ 当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	注記 番号	前第3四半期連結会計期間末 (平成19年5月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (平成20年5月31日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成19年8月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)							
I 流動資産							
1 現金及び預金	※2	1,023,347		1,308,684		1,045,310	
2 受取手形及び売掛金		106,973		74,785		103,926	
3 たな卸資産		77,175		82,541		74,742	
4 その他		232,821		308,553		225,936	
貸倒引当金		△710		—		△79	
流動資産合計		1,439,608	25.1	1,774,565	30.5	1,449,837	25.5
II 固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物及び構築物	※1	1,942,344		1,844,024		1,960,186	
(2) 工具器具備品	※1	279,727		258,582		260,561	
(3) その他	※1	254,674		250,455		253,021	
有形固定資産合計		2,476,746	43.1	2,353,061	40.4	2,473,768	43.6
2 無形固定資産							
(1) のれん		456,082		397,964		441,413	
(2) その他		60,757		74,986		63,780	
無形固定資産合計		516,839	9.0	472,950	8.1	505,194	8.9
3 投資その他の資産							
(1) 差入保証金	※2	1,025,891		986,231		1,014,677	
(2) その他		280,366		241,128		234,194	
貸倒引当金		—		△1,396		△696	
投資その他の資産合計		1,306,257	22.8	1,225,962	21.0	1,248,175	22.0
固定資産合計		4,299,843	74.9	4,051,975	69.5	4,227,138	74.5
資産合計		5,739,451	100.0	5,826,541	100.0	5,676,975	100.0

		前第3四半期連結会計期間末 (平成19年5月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (平成20年5月31日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成19年8月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(負債の部)							
I 流動負債							
1 買掛金		123,687		146,081		157,992	
2 短期借入金	※2,3	165,000		133,336		210,000	
3 一年以内返済予定 長期借入金	※2,3	1,162,659		1,341,667		1,138,881	
4 一年以内償還予定社債		310,000		180,000		310,000	
5 未払金		31,893		52,517		128,217	
6 未払費用		297,720		339,671		263,774	
7 未払法人税等		115,279		130,537		143,453	
8 賞与引当金		10,260		9,245		9,299	
9 その他	※4	83,563		70,589		92,160	
流動負債合計		2,300,063	40.1	2,403,646	41.3	2,453,778	43.2
II 固定負債							
1 社債		120,000		240,000		75,000	
2 長期借入金	※2,3	1,657,196		1,430,213		1,477,185	
3 長期未払金		4,845		184		3,133	
4 その他		125,060		114,488		128,097	
固定負債合計		1,907,102	33.2	1,784,885	30.6	1,683,416	29.7
負債合計		4,207,165	73.3	4,188,531	71.9	4,137,194	72.9
(純資産の部)							
I 株主資本							
1 資本金		732,394	12.8	732,394	12.6	732,394	12.9
2 資本剰余金		725,552	12.6	725,552	12.4	725,552	12.8
3 利益剰余金		74,339	1.3	178,050	3.1	78,882	1.4
株主資本合計		1,532,286	26.7	1,635,997	28.1	1,536,829	27.1
II 評価・換算差額等							
1 その他有価証券評価 差額金		—	—	2,012	0.0	2,951	0.0
評価・換算差額等合計		—	—	2,012	0.0	2,951	0.0
純資産合計		1,532,286	26.7	1,638,009	28.1	1,539,780	27.1
負債純資産合計		5,739,451	100.0	5,826,541	100.0	5,676,975	100.0

(2) 四半期連結損益計算書

区分	注記 番号	前第3四半期連結会計期間 (自平成18年9月1日 至平成19年5月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成19年9月1日 至平成20年5月31日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自平成18年9月1日 至平成19年8月31日)	
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高		5,142,109	100.0	5,399,239	100.0	6,840,231	100.0
II 売上原価		4,200,215	81.7	4,153,835	76.9	5,592,278	81.8
売上総利益		941,893	18.3	1,245,404	23.1	1,247,952	18.2
III 販売費及び一般管理費	※1	619,133	12.0	712,147	13.2	834,779	12.2
営業利益		322,760	6.3	533,256	9.9	413,172	6.0
IV 営業外収益							
1 受取利息		523		1,595		1,384	
2 受取配当金		151		195		159	
3 受取販売支援金		9,434		10,720		12,701	
4 受取保険金		4,062		2,919		5,628	
5 受取設備利用料		5,825		6,854		8,110	
6 その他		7,958		12,905		10,729	
小計		27,956	0.5	35,190	0.6	38,714	0.6
V 営業外費用							
1 支払利息		57,275		56,956		75,184	
2 社債発行費		—		5,774		—	
3 支払手数料		—		7,158		—	
4 その他		10,825		4,727		12,205	
小計		68,100	1.3	74,616	1.4	87,390	1.3
経常利益		282,615	5.5	493,830	9.1	364,496	5.3
VI 特別損失							
1 固定資産除却損	※2	46,116		22,358		52,506	
2 減損損失	※3	88,382		214,726		88,382	
3 投資有価証券売却損		—		1,348		—	
4 投資有価証券評価損		2,218		286		2,218	
5 その他		—		—		1,316	
小計		136,717	2.7	238,719	4.4	144,423	2.1
税金等調整前第3四半期(当期)純利益		145,898	2.8	255,111	4.7	220,073	3.2
法人税、住民税及び事業税		112,955	2.2	186,304	3.5	137,056	2.0
法人税等調整額		△17,591	△0.4	△46,895	△0.9	27,939	0.4
第3四半期(当期)純利益		50,534	1.0	115,702	2.1	55,076	0.8

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第3四半期連結会計期間(自平成18年9月1日至平成19年5月31日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成18年8月31日 残高(千円)	732,295	725,452	23,805	1,481,553
第3四半期連結会計期間中の 変動額				
ストックオプション行使による 新株の発行	99	99		198
第3四半期純利益			50,534	50,534
株主資本以外の項目の 第3四半期連結会計期間中の 変動額(純額)				
第3四半期連結会計期間中の 変動額合計(千円)	99	99	50,534	50,732
平成19年5月31日 残高(千円)	732,394	725,552	74,339	1,532,286

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年8月31日 残高(千円)	△1,050	△1,050	1,480,503
第3四半期連結会計期間中の 変動額			
ストックオプション行使による 新株の発行			198
第3四半期純利益			50,534
株主資本以外の項目の 第3四半期連結会計期間中の 変動額(純額)	1,050	1,050	1,050
第3四半期連結会計期間中の 変動額合計(千円)	1,050	1,050	51,782
平成19年5月31日 残高(千円)	—	—	1,532,286

当第3四半期連結会計期間(自平成19年9月1日至平成20年5月31日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成19年8月31日 残高(千円)	732,394	725,552	78,882	1,536,829
第3四半期連結会計期間中の 変動額				
剰余金の配当			△16,534	△16,534
第3四半期純利益			115,702	115,702
株主資本以外の項目の 第3四半期連結会計期間中の 変動額(純額)				
第3四半期連結会計期間中の 変動額合計(千円)	—	—	99,168	99,168
平成20年5月31日 残高(千円)	732,394	725,552	178,050	1,635,997

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年8月31日 残高(千円)	2,951	2,951	1,539,780
第3四半期連結会計期間中の 変動額			
剰余金の配当			△16,534
第3四半期純利益			115,702
株主資本以外の項目の 第3四半期連結会計期間中の 変動額(純額)	△939	△939	△939
第3四半期連結会計期間中の 変動額合計(千円)	△939	△939	98,228
平成20年5月31日 残高(千円)	2,012	2,012	1,638,009

前連結会計年度の連結株主資本等変動計算書（自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成18年8月31日 残高（千円）	732,295	725,452	23,805	1,481,553
連結会計年度中の変動額				
ストックオプション行使による 新株の発行	99	99		198
当期純利益			55,076	55,076
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額）				
連結会計年度中の変動額合計 （千円）	99	99	55,076	55,275
平成19年8月31日 残高（千円）	732,394	725,552	78,882	1,536,829

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年8月31日 残高（千円）	△1,050	△1,050	1,480,503
連結会計年度中の変動額			
ストックオプション行使による 新株の発行			198
当期純利益			55,076
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額）	4,001	4,001	4,001
連結会計年度中の変動額合計 （千円）	4,001	4,001	59,276
平成19年8月31日 残高（千円）	2,951	2,951	1,539,780

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	注記 番号	前第3四半期連結会計期間	当第3四半期連結会計期間	前連結会計年度の要約連結 キャッシュ・フロー計算書
		(自 平成18年9月1日 至 平成19年5月31日)	(自 平成19年9月1日 至 平成20年5月31日)	(自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日)
		金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
I 営業活動による キャッシュ・フロー				
税金等調整前第3四半期(当期)純利益		145,898	255,111	220,073
減価償却費		279,118	232,411	377,509
減損損失		88,382	214,726	88,382
のれん償却額		39,005	39,005	52,007
長期前払費用償却		31,147	30,233	42,801
貸倒引当金の増加額 又は減少額(△)		△31	621	33
賞与引当金の増加額 又は減少額(△)		1,752	△53	791
事業税の資本割及び付加価値割		13,498	△3,994	17,741
受取利息及び受取配当金		△674	△1,790	△1,543
支払利息及び社債利息		57,275	56,956	75,184
社債発行費		—	5,774	—
固定資産除却損		46,116	22,358	52,506
投資有価証券売却損		—	1,348	—
投資有価証券評価損		2,218	286	2,218
売上債権の減少額		72,607	3,056	72,633
たな卸資産の増加額(△) 又は減少額		8,318	△16,578	10,751
その他資産の増加額(△) 又は減少額		15,437	△28,202	8,787
仕入債務の増加額 又は減少額(△)		△34,628	61,425	△34,067
その他負債の減少額		△16,324	△49,334	△2,530
小計		749,117	823,362	983,279
利息及び配当金の受取額		674	1,789	1,543
利息の支払額		△55,117	△51,674	△72,448
法人税等の支払額		△36,605	△195,225	△36,779
営業活動による キャッシュ・フロー		658,069	578,251	875,595
II 投資活動による キャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出		△312,793	△371,250	△312,377
有形固定資産の売却による収入		9	3,339	19
無形固定資産の取得による支出		△8,293	△15,727	△16,930
投資有価証券の売却による収入		—	7,431	—
保証金の差入による支出		△26,643	△79,773	△26,736
保証金の返還による収入		12,613	31,052	31,576
その他投資による支出		△18,634	△29,710	△21,990
その他投資回収による収入		3,603	45,390	33,646
投資活動による キャッシュ・フロー		△350,138	△409,248	△312,793

		前第3四半期連結会計期間 (自平成18年9月1日 至平成19年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成19年9月1日 至平成20年5月31日)	前連結会計年度の要約連結 キャッシュ・フロー計算書 (自平成18年9月1日 至平成19年8月31日)
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
III 財務活動による キャッシュ・フロー				
短期借入れによる収入		200,000	380,000	300,000
短期借入金の返済による支出		△35,000	△456,664	△90,000
長期借入れによる収入		484,000	1,078,500	584,000
長期借入金の返済による支出		△941,432	△922,686	△1,245,221
社債発行による収入		—	294,225	—
社債の償還による支出		△65,000	△265,000	△110,000
株式の発行による収入		198	—	198
配当金の支払額		△104	△16,185	△130
財務活動による キャッシュ・フロー		△357,337	92,189	△561,152
IV 現金及び現金同等物に係る 換算差額		—	—	—
V 現金及び現金同等物の増加額又は 減少額(△)		△49,406	261,192	1,648
VI 現金及び現金同等物の期首残高		955,159	956,808	955,159
VII 現金及び現金同等物の 第3四半期末(期末)残高	※1	905,752	1,218,000	956,808

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

項目	前第3四半期連結会計期間 (自平成18年9月1日 至平成19年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成19年9月1日 至平成20年5月31日)	前連結会計年度 (自平成18年9月1日 至平成19年8月31日)
1. 連結の範囲に関する事項	連結子会社の数 4社 連結子会社の名称 (株)システムプランベネックス (株)エクセルシア からふね屋珈琲(株) (株)クリエイト・ユウ	連結子会社の数 同左 連結子会社の名称 同左	連結子会社の数 同左 連結子会社の名称 同左
2. 持分法の適用に関する事項	持分法の適用の対象となる関連会社はありません。	同左	同左
3. 連結子会社の四半期決算日（決算日）等に関する事項	連結子会社の四半期決算日が四半期連結決算日と異なる会社 連結子会社名 (株)システムプランベネックス 第3四半期決算日 平成19年4月30日 四半期連結財務諸表を作成するにあたっては、子会社の四半期決算日現在の四半期財務諸表を使用し、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っています。	同左 連結子会社名 (株)システムプランベネックス 第3四半期決算日 平成20年4月30日 同左	連結決算日と決算日が異なる連結子会社 連結子会社名 (株)システムプランベネックス 決算日 平成19年7月31日 連結財務諸表を作成するにあたっては、子会社の決算日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っています。
4. 会計処理基準に関する事項	(イ)重要な資産の評価基準及び評価方法 ①有価証券 その他有価証券 ・時価のあるもの： 四半期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。	(イ)重要な資産の評価基準及び評価方法 ①有価証券 その他有価証券 ・時価のあるもの： 同左	(イ)重要な資産の評価基準及び評価方法 ①有価証券 その他有価証券 ・時価のあるもの： 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

項目	前第3四半期連結会計期間 (自平成18年9月1日 至平成19年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成19年9月1日 至平成20年5月31日)	前連結会計年度 (自平成18年9月1日 至平成19年8月31日)
	<p>・時価のないもの： 移動平均法による原価法</p> <p>ただし、投資事業組合への出資金は、組合財産の持分相当額を投資有価証券として計上し、組合契約に規定される決算報告に基づく純損益の持分相当額を当第3四半期連結会計期間の損益として計上する方法（純額方式）によっております。</p> <p>②たな卸資産 製品及び仕掛品 個別法による原価法 その他 最終仕入原価法</p> <p>(ロ)重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>①有形固定資産 定率法 ただし、建物（建物附属設備を除く）については、法人税法に定める定額法によっております。</p> <p>なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。</p> <p>また、取得価額20万円未満の少額減価償却資産については、事業年度毎に一括して3年間で均等償却しております。</p>	<p>・時価のないもの： 移動平均法による原価法</p> <p>②たな卸資産 製品及び仕掛品 同左 その他 同左</p> <p>(ロ)重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>①有形固定資産 定率法 同左</p>	<p>・時価のないもの： 移動平均法による原価法</p> <p>ただし、投資事業組合への出資金は、組合財産の持分相当額を投資有価証券として計上し、組合契約に規定される決算報告に基づく純損益の持分相当額を当連結会計年度の損益として計上する方法（純額方式）によっております。</p> <p>②たな卸資産 製品及び仕掛品 同左 その他 同左</p> <p>(ロ)重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>①有形固定資産 定率法 同左</p>

項目	前第3四半期連結会計期間 (自平成18年9月1日 至平成19年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成19年9月1日 至平成20年5月31日)	前連結会計年度 (自平成18年9月1日 至平成19年8月31日)
	<p>②無形固定資産 定額法 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p> <p>③長期前払費用 定額法 なお、償却期間については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。</p> <p>(ハ)重要な引当金の計上基準</p> <p>①貸倒引当金 当社グループは、売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>②賞与引当金 当社グループは、従業員への賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち、当第3四半期連結会計期間の負担額を計上しております。</p>	<p>(追加情報)</p> <p>当社グループは、法人税法の改正に伴い平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。</p> <p>なお、この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前第3四半期純利益に与える影響は軽微であります。</p> <p>②無形固定資産 定額法 同左</p> <p>③長期前払費用 定額法 同左</p> <p>(ハ)重要な引当金の計上基準</p> <p>①貸倒引当金 同左</p> <p>②賞与引当金 同左</p>	<p>(会計方針の変更)</p> <p>平成19年度の法人税法の改正((所得税法等の一部を改正する法律 平成19年3月30日 法律第6号)及び(法人税法施行令の一部を改正する法令 平成19年3月30日 政令第83号))に伴い、平成19年4月1日以降に取得したのものについては、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。</p> <p>これに伴う損益への影響は軽微であります。</p> <p>②無形固定資産 定額法 同左</p> <p>③長期前払費用 定額法 同左</p> <p>(ハ)重要な引当金の計上基準</p> <p>①貸倒引当金 同左</p> <p>②賞与引当金 当社グループは、従業員への賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち、当連結会計年度の負担額を計上しております。</p>

項目	前第3四半期連結会計期間 (自平成18年9月1日 至平成19年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成19年9月1日 至平成20年5月31日)	前連結会計年度 (自平成18年9月1日 至平成19年8月31日)
	<p>(ニ)重要なリース取引の処理方法 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>(ホ)重要なヘッジ会計の方法 ①ヘッジ会計の方法 原則として繰延ヘッジ処理によっております。 また、特例処理の要件を満たしている金利スワップ取引及び金利キャップ取引については特例処理によっております。</p> <p>②ヘッジ手段とヘッジ対象 当第3四半期連結会計期間にヘッジ会計を適用したヘッジ手段とヘッジ対象は以下のとおりであります。 ヘッジ手段 金利スワップ及び金利キャップ ヘッジ対象 借入金</p> <p>③ヘッジ方針 デリバティブ取引に関する社内規程に基づき、ヘッジ対象に係る金利変動リスクを一定の範囲内でヘッジしております。</p> <p>④ヘッジ有効性の評価の方法 特例処理の要件を満たしている金利スワップ取引及び金利キャップ取引のみであるため、有効性の評価を省略しております。</p> <p>(ヘ)その他四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 消費税等の処理方法 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。</p>	<p>(ニ)重要なリース取引の処理方法 同左</p> <p>(ホ)重要なヘッジ会計の方法 ①ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>②ヘッジ手段とヘッジ対象 同左 ヘッジ手段 同左 ヘッジ対象 同左</p> <p>③ヘッジ方針 同左</p> <p>④ヘッジ有効性の評価の方法 同左</p> <p>(ヘ)その他四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 消費税等の処理方法 同左</p>	<p>(ニ)重要なリース取引の処理方法 同左</p> <p>(ホ)重要なヘッジ会計の方法 ①ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>②ヘッジ手段とヘッジ対象 当連結会計年度にヘッジ会計を適用したヘッジ手段とヘッジ対象は以下のとおりであります。 ヘッジ手段 同左 ヘッジ対象 同左</p> <p>③ヘッジ方針 同左</p> <p>④ヘッジ有効性の評価の方法 同左</p> <p>(ヘ)その他連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 消費税等の処理方法 同左</p>

項目	前第3四半期連結会計期間 (自 平成18年9月1日 至 平成19年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年9月1日 至 平成20年5月31日)	前連結会計年度 (自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日)
5. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(連結キャッシュ・フロー計算書)における資金の範囲	手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日又は償還日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない短期的な投資であります。	同左	同左

表示方法の変更

前第3四半期連結会計期間 (自 平成18年9月1日 至 平成19年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年9月1日 至 平成20年5月31日)
<p>(四半期連結貸借対照表)</p> <p>前第3四半期連結会計期間において、「連結調整勘定」として掲記されていたものは、当第3四半期から「のれん」と表示しております。</p> <p>(四半期キャッシュフロー・計算書)</p> <p>前第3四半期連結会計期間において、「連結調整勘定償却額」として掲記されていたものは、当第3四半期から「のれん償却額」と表示しております。</p>	<p>_____</p> <p>_____</p>

(5) 注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

前第3四半期連結会計期間末 (平成19年5月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年5月31日)	前連結会計年度末 (平成19年8月31日)
<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額 1,373,458千円</p> <p>※2 担保に供している資産 (1)担保に供している資産 定期預金 40,071千円 差入保証金 146,983千円 合計 187,055千円 (2)上記に対応する債務 短期借入金 90,000千円 長期借入金 1,117,582千円 (一年以内返済予定長期借入金を含む)</p> <p>※3 _____</p>	<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額 1,421,173千円</p> <p>※2 担保に供している資産 (1)担保に供している資産 定期預金 40,163千円 差入保証金 131,131千円 合計 171,294千円 (2)上記に対応する債務 長期借入金 815,940千円 (一年以内返済予定長期借入金を含む)</p> <p>※3 シンジケート・ローン (1)当社は、平成20年2月6日にシンジケート・ローン契約を締結しており、当第3四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。 金額の総額 850,000千円 借入実行残高 42,500千円 差引 807,500千円 (2)当該契約には次の条項が付されております。 借入人は、全貸付人との関係で本契約が終了し、かつ貸付人及びエージェントに対する本契約上のすべての債務の履行が完了するまで、本契約締結日以降の各決算期末日（各事業年度の末日）において、以下の条件を充足することを確約する。 ①連結貸借対照表及び単体の貸借対照表における純資産の部の金額を、当該決算期の直前の決算期末日の金額又は平成19年8月期末の金額のいずれか大きい方の75%以上に維持すること。 ②連結損益計算書及び単体の損益計算書上の経常損益につき2期（ただし、中間期は含まない。）連続して損失を計上しないこと。</p> <p>※4 消費税等の取扱い 同左</p>	<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額 1,311,844千円</p> <p>※2 担保に供している資産 (1)担保に供している資産 定期預金 40,103千円 差入保証金 146,983千円 合計 187,087千円 (2)上記に対応する債務 短期借入金 60,000千円 長期借入金 1,021,363千円 (一年以内返済予定長期借入金を含む)</p> <p>※3 _____</p> <p>※4 _____</p>
<p>※4 消費税等の取扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺の上、流動負債の「その他」に含めて表示しております。</p>	<p>※4 消費税等の取扱い 同左</p>	<p>※4 _____</p>

（四半期連結損益計算書関係）

前第3四半期連結会計期間 （自平成18年9月1日 至平成19年5月31日）	当第3四半期連結会計期間 （自平成19年9月1日 至平成20年5月31日）	前連結会計年度 （自平成18年9月1日 至平成19年8月31日）																																																																																																																																				
<p>※1 販売費及び一般管理費の主なものは次のとおりであります。</p> <table> <tr><td>役員報酬</td><td>95,607千円</td></tr> <tr><td>給料手当</td><td>176,260千円</td></tr> <tr><td>賞与引当金</td><td>2,275千円</td></tr> <tr><td>繰入額</td><td></td></tr> <tr><td>賃借料</td><td>43,780千円</td></tr> <tr><td>のれん償却額</td><td>39,005千円</td></tr> </table> <p>※2 固定資産除却損の主なものは次のとおりであります。</p> <table> <tr><td>建物除却損</td><td>40,276千円</td></tr> <tr><td>構築物除却損</td><td>289千円</td></tr> <tr><td>工具器具備品除却損</td><td>5,551千円</td></tr> </table> <p>※3 減損損失の主な内容は次のとおりであります。</p> <p>(1)概要 当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小の単位として、店舗ごとに資産のグルーピングをしております。営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなっている店舗を対象とし、回収可能価額が帳簿価額を下回るものについて建物及び構築物等の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>(2)当第3四半期連結会計期間において減損損失を計上した資産</p> <table> <tr><td>① 西葛西店</td><td>東京都江戸川区</td></tr> <tr><td>(ビリヤード・</td><td>建物及び構築物</td></tr> <tr><td>ダーツ店舗)</td><td></td></tr> <tr><td>② 恵比寿店</td><td>東京都渋谷区</td></tr> <tr><td>(まんが店舗)</td><td>建物及び構築物</td></tr> <tr><td>③ 高尾店</td><td>東京都八王子市</td></tr> <tr><td>(まんが店舗)</td><td>建物及び構築物並びに工具器具備品等</td></tr> <tr><td>④ 札幌店</td><td>北海道札幌市</td></tr> <tr><td>(カラオケ店舗)</td><td>建物及び構築物</td></tr> <tr><td>⑤ 中洲店</td><td>福岡県福岡市</td></tr> <tr><td>(複合カフェ店</td><td>建物及び構築物</td></tr> <tr><td>舗)</td><td></td></tr> </table>	役員報酬	95,607千円	給料手当	176,260千円	賞与引当金	2,275千円	繰入額		賃借料	43,780千円	のれん償却額	39,005千円	建物除却損	40,276千円	構築物除却損	289千円	工具器具備品除却損	5,551千円	① 西葛西店	東京都江戸川区	(ビリヤード・	建物及び構築物	ダーツ店舗)		② 恵比寿店	東京都渋谷区	(まんが店舗)	建物及び構築物	③ 高尾店	東京都八王子市	(まんが店舗)	建物及び構築物並びに工具器具備品等	④ 札幌店	北海道札幌市	(カラオケ店舗)	建物及び構築物	⑤ 中洲店	福岡県福岡市	(複合カフェ店	建物及び構築物	舗)		<p>※1 販売費及び一般管理費の主なものは次のとおりであります。</p> <table> <tr><td>役員報酬</td><td>100,397千円</td></tr> <tr><td>給料手当</td><td>223,117千円</td></tr> <tr><td>賞与引当金</td><td>3,575千円</td></tr> <tr><td>繰入額</td><td></td></tr> <tr><td>賃借料</td><td>44,073千円</td></tr> <tr><td>のれん償却額</td><td>39,005千円</td></tr> </table> <p>※2 固定資産除却損の主なものは次のとおりであります。</p> <table> <tr><td>建物除却損</td><td>20,506千円</td></tr> <tr><td>構築物除却損</td><td>1,555千円</td></tr> <tr><td>工具器具備品除却損</td><td>213千円</td></tr> </table> <p>※3 減損損失の主な内容は次のとおりであります。</p> <p>(1)概要 同左</p> <p>(2)当第3四半期連結会計期間において減損損失を計上した資産</p> <table> <tr><td>① 千葉中央店</td><td>千葉県千葉市</td></tr> <tr><td>(まんが店舗)</td><td>建物及び構築物</td></tr> <tr><td>② 川越店</td><td>埼玉県川越市</td></tr> <tr><td>(カラオケ店舗)</td><td>建物及び構築物</td></tr> <tr><td>③ 西葛西店</td><td>東京都江戸川区</td></tr> <tr><td>(ビリヤード・</td><td>建物及び構築物</td></tr> <tr><td>ダーツ店舗)</td><td></td></tr> <tr><td>④ 土浦店</td><td>茨城県土浦市</td></tr> <tr><td>(まんが店舗)</td><td>建物</td></tr> <tr><td>⑤ 津田沼店</td><td>千葉県船橋市</td></tr> <tr><td>(カラオケ店舗)</td><td>建物及び構築物</td></tr> <tr><td>⑥ 札幌店</td><td>北海道札幌市</td></tr> <tr><td>(カラオケ店舗)</td><td>建物及び構築物並びにその他(長期前払費用)</td></tr> <tr><td>⑦ 新小岩店</td><td>東京都葛飾区</td></tr> <tr><td>(カラオケ店舗)</td><td>建物</td></tr> </table>	役員報酬	100,397千円	給料手当	223,117千円	賞与引当金	3,575千円	繰入額		賃借料	44,073千円	のれん償却額	39,005千円	建物除却損	20,506千円	構築物除却損	1,555千円	工具器具備品除却損	213千円	① 千葉中央店	千葉県千葉市	(まんが店舗)	建物及び構築物	② 川越店	埼玉県川越市	(カラオケ店舗)	建物及び構築物	③ 西葛西店	東京都江戸川区	(ビリヤード・	建物及び構築物	ダーツ店舗)		④ 土浦店	茨城県土浦市	(まんが店舗)	建物	⑤ 津田沼店	千葉県船橋市	(カラオケ店舗)	建物及び構築物	⑥ 札幌店	北海道札幌市	(カラオケ店舗)	建物及び構築物並びにその他(長期前払費用)	⑦ 新小岩店	東京都葛飾区	(カラオケ店舗)	建物	<p>※1 販売費及び一般管理費の主なものは次のとおりであります。</p> <table> <tr><td>役員報酬</td><td>127,026千円</td></tr> <tr><td>給料手当</td><td>241,856千円</td></tr> <tr><td>賞与引当金</td><td>2,335千円</td></tr> <tr><td>繰入額</td><td></td></tr> <tr><td>賃借料</td><td>53,117千円</td></tr> <tr><td>のれん償却額</td><td>52,007千円</td></tr> </table> <p>※2 固定資産除却損の主なものは次のとおりであります。</p> <table> <tr><td>建物除却損</td><td>46,144千円</td></tr> <tr><td>構築物除却損</td><td>289千円</td></tr> <tr><td>工具器具備品除却損</td><td>5,827千円</td></tr> </table> <p>※3 減損損失の主な内容は次のとおりであります。</p> <p>(1)概要 同左</p> <p>(2)当連結会計年度において減損損失を計上した資産</p> <table> <tr><td>① 西葛西店</td><td>東京都江戸川区</td></tr> <tr><td>(ビリヤード・</td><td>建物</td></tr> <tr><td>ダーツ店舗)</td><td></td></tr> <tr><td>② 恵比寿店</td><td>東京都渋谷区</td></tr> <tr><td>(まんが店舗)</td><td>建物</td></tr> <tr><td>③ 高尾店</td><td>東京都八王子市</td></tr> <tr><td>(まんが店舗)</td><td>建物及び工具器具備品等</td></tr> <tr><td>④ 札幌店</td><td>北海道札幌市</td></tr> <tr><td>(カラオケ店舗)</td><td>建物</td></tr> <tr><td>⑤ 中洲店</td><td>福岡県福岡市</td></tr> <tr><td>(複合カフェ店</td><td>建物</td></tr> <tr><td>舗)</td><td></td></tr> </table>	役員報酬	127,026千円	給料手当	241,856千円	賞与引当金	2,335千円	繰入額		賃借料	53,117千円	のれん償却額	52,007千円	建物除却損	46,144千円	構築物除却損	289千円	工具器具備品除却損	5,827千円	① 西葛西店	東京都江戸川区	(ビリヤード・	建物	ダーツ店舗)		② 恵比寿店	東京都渋谷区	(まんが店舗)	建物	③ 高尾店	東京都八王子市	(まんが店舗)	建物及び工具器具備品等	④ 札幌店	北海道札幌市	(カラオケ店舗)	建物	⑤ 中洲店	福岡県福岡市	(複合カフェ店	建物	舗)	
役員報酬	95,607千円																																																																																																																																					
給料手当	176,260千円																																																																																																																																					
賞与引当金	2,275千円																																																																																																																																					
繰入額																																																																																																																																						
賃借料	43,780千円																																																																																																																																					
のれん償却額	39,005千円																																																																																																																																					
建物除却損	40,276千円																																																																																																																																					
構築物除却損	289千円																																																																																																																																					
工具器具備品除却損	5,551千円																																																																																																																																					
① 西葛西店	東京都江戸川区																																																																																																																																					
(ビリヤード・	建物及び構築物																																																																																																																																					
ダーツ店舗)																																																																																																																																						
② 恵比寿店	東京都渋谷区																																																																																																																																					
(まんが店舗)	建物及び構築物																																																																																																																																					
③ 高尾店	東京都八王子市																																																																																																																																					
(まんが店舗)	建物及び構築物並びに工具器具備品等																																																																																																																																					
④ 札幌店	北海道札幌市																																																																																																																																					
(カラオケ店舗)	建物及び構築物																																																																																																																																					
⑤ 中洲店	福岡県福岡市																																																																																																																																					
(複合カフェ店	建物及び構築物																																																																																																																																					
舗)																																																																																																																																						
役員報酬	100,397千円																																																																																																																																					
給料手当	223,117千円																																																																																																																																					
賞与引当金	3,575千円																																																																																																																																					
繰入額																																																																																																																																						
賃借料	44,073千円																																																																																																																																					
のれん償却額	39,005千円																																																																																																																																					
建物除却損	20,506千円																																																																																																																																					
構築物除却損	1,555千円																																																																																																																																					
工具器具備品除却損	213千円																																																																																																																																					
① 千葉中央店	千葉県千葉市																																																																																																																																					
(まんが店舗)	建物及び構築物																																																																																																																																					
② 川越店	埼玉県川越市																																																																																																																																					
(カラオケ店舗)	建物及び構築物																																																																																																																																					
③ 西葛西店	東京都江戸川区																																																																																																																																					
(ビリヤード・	建物及び構築物																																																																																																																																					
ダーツ店舗)																																																																																																																																						
④ 土浦店	茨城県土浦市																																																																																																																																					
(まんが店舗)	建物																																																																																																																																					
⑤ 津田沼店	千葉県船橋市																																																																																																																																					
(カラオケ店舗)	建物及び構築物																																																																																																																																					
⑥ 札幌店	北海道札幌市																																																																																																																																					
(カラオケ店舗)	建物及び構築物並びにその他(長期前払費用)																																																																																																																																					
⑦ 新小岩店	東京都葛飾区																																																																																																																																					
(カラオケ店舗)	建物																																																																																																																																					
役員報酬	127,026千円																																																																																																																																					
給料手当	241,856千円																																																																																																																																					
賞与引当金	2,335千円																																																																																																																																					
繰入額																																																																																																																																						
賃借料	53,117千円																																																																																																																																					
のれん償却額	52,007千円																																																																																																																																					
建物除却損	46,144千円																																																																																																																																					
構築物除却損	289千円																																																																																																																																					
工具器具備品除却損	5,827千円																																																																																																																																					
① 西葛西店	東京都江戸川区																																																																																																																																					
(ビリヤード・	建物																																																																																																																																					
ダーツ店舗)																																																																																																																																						
② 恵比寿店	東京都渋谷区																																																																																																																																					
(まんが店舗)	建物																																																																																																																																					
③ 高尾店	東京都八王子市																																																																																																																																					
(まんが店舗)	建物及び工具器具備品等																																																																																																																																					
④ 札幌店	北海道札幌市																																																																																																																																					
(カラオケ店舗)	建物																																																																																																																																					
⑤ 中洲店	福岡県福岡市																																																																																																																																					
(複合カフェ店	建物																																																																																																																																					
舗)																																																																																																																																						

前第3四半期連結会計期間 (自平成18年9月1日 至平成19年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成19年9月1日 至平成20年5月31日)	前連結会計年度 (自平成18年9月1日 至平成19年8月31日)
<p>(3)減損損失の金額</p> <p>建物及び構築物 79,724千円</p> <p>工具器具備品 161千円</p> <p>その他(長期前払費用) 4,517千円</p> <p>差入保証金 3,978千円</p>	<p>(3)減損損失の金額</p> <p>建物 186,265千円</p> <p>構築物 8,455千円</p> <p>その他(長期前払費用) 5,186千円</p> <p>差入保証金 14,819千円</p>	<p>(3)減損損失の金額</p> <p>建物 79,724千円</p> <p>工具器具備品 161千円</p> <p>その他(長期前払費用) 4,517千円</p> <p>差入保証金 3,978千円</p>
<p>(4)回収可能価額の算定方法</p> <p>回収可能価額は将来キャッシュ・フローを4%の割引率で割り引いて計算しております。</p>	<p>(4)回収可能価額の算定方法</p> <p>同左</p>	<p>(4)回収可能価額の算定方法</p> <p>同左</p>

（四半期連結株主資本等変動計算書関係）

前第3四半期連結会計期間（自平成18年9月1日至平成19年5月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前連結会計年度末株式数（株）	当第3四半期連結会計期間増加株式数（株）	当第3四半期連結会計期間減少株式数（株）	当第3四半期連結会計期間末株式数（株）
発行済株式				
普通株式	33,064	4	—	33,068
合計	33,064	4	—	33,068
自己株式				
普通株式	—	—	—	—
合計	—	—	—	—

（注）普通株式の発行済株式総数の増加4株は、新株予約権の権利行使による新株の発行による増加であります。

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

新株予約権及び自己新株予約権の当第3四半期連結会計期間末残高はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当第3四半期連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結会計期間（自平成19年9月1日至平成20年5月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前連結会計年度末株式数（株）	当第3四半期連結会計期間増加株式数（株）	当第3四半期連結会計期間減少株式数（株）	当第3四半期連結会計期間末株式数（株）
発行済株式				
普通株式	33,068	—	—	33,068
合計	33,068	—	—	33,068
自己株式				
普通株式	—	—	—	—
合計	—	—	—	—

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

新株予約権及び自己新株予約権の当第3四半期連結会計期間末残高はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額（円）	1株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
平成19年11月29日 定時株主総会	普通株式	16,534,000	500	平成19年8月31日	平成19年11月30日

(2) 基準日が当第3四半期連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

前連結会計年度（自平成18年9月1日 至平成19年8月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前連結会計年度末株式数(株)	当連結会計年度増加株式数(株)	当連結会計年度減少株式数(株)	当連結会計年度末株式数(株)
発行済株式				
普通株式	33,064	4	—	33,068
合計	33,064	4	—	33,068
自己株式				
普通株式	—	—	—	—
合計	—	—	—	—

（注）普通株式の発行済株式総数の増加4株は、新株予約権の権利行使による新株の発行による増加であります。

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が当連結会計年度末後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額(円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
平成19年11月29日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	16,534,000	500	平成19年8月31日	平成19年11月30日

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

前第3四半期連結会計期間 (自平成18年9月1日 至平成19年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成19年9月1日 至平成20年5月31日)	前連結会計年度 (自平成18年9月1日 至平成19年8月31日)
※1 現金及び現金同等物の第3四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成19年5月31日現在) 現金及び預金 1,023,347千円 預入れ期間が3ヶ月を超える預金等 117,594千円 現金及び現金同等物 905,752千円	※1 現金及び現金同等物の第3四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年5月31日現在) 現金及び預金 1,308,684千円 預入れ期間が3ヶ月を超える預金等 90,684千円 現金及び現金同等物 1,218,000千円	※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成19年8月31日現在) 現金及び預金 1,045,310千円 預入れ期間が3ヶ月を超える預金等 88,502千円 現金及び現金同等物 956,808千円

（リース取引関係）

前第3四半期連結会計期間 （自平成18年9月1日 至平成19年5月31日）	当第3四半期連結会計期間 （自平成19年9月1日 至平成20年5月31日）	前連結会計年度 （自平成18年9月1日 至平成19年8月31日）																																												
<p>(1) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 （借主側）</p> <p>①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び第3四半期連結会計期間末残高相当額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額相当額 （千円）</th> <th>減価償却累計額相当額 （千円）</th> <th>第3四半期連結会計期間末残高相当額 （千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工具器具備品</td> <td>1,572,429</td> <td>921,662</td> <td>650,767</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,572,429</td> <td>921,662</td> <td>650,767</td> </tr> </tbody> </table>		取得価額相当額 （千円）	減価償却累計額相当額 （千円）	第3四半期連結会計期間末残高相当額 （千円）	工具器具備品	1,572,429	921,662	650,767	合計	1,572,429	921,662	650,767	<p>(1) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 （借主側）</p> <p>①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び第3四半期連結会計期間末残高相当額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額相当額 （千円）</th> <th>減価償却累計額相当額 （千円）</th> <th>第3四半期連結会計期間末残高相当額 （千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車両運搬具</td> <td>8,818</td> <td>2,848</td> <td>5,970</td> </tr> <tr> <td>工具器具備品</td> <td>1,461,651</td> <td>902,509</td> <td>559,141</td> </tr> <tr> <td>ソフトウェア</td> <td>45,135</td> <td>1,504</td> <td>43,630</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,515,604</td> <td>906,863</td> <td>608,741</td> </tr> </tbody> </table>		取得価額相当額 （千円）	減価償却累計額相当額 （千円）	第3四半期連結会計期間末残高相当額 （千円）	車両運搬具	8,818	2,848	5,970	工具器具備品	1,461,651	902,509	559,141	ソフトウェア	45,135	1,504	43,630	合計	1,515,604	906,863	608,741	<p>(1) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 （借主側）</p> <p>①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額相当額 （千円）</th> <th>減価償却累計額相当額 （千円）</th> <th>期末残高相当額 （千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工具器具備品</td> <td>1,543,525</td> <td>804,108</td> <td>739,417</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,543,525</td> <td>804,108</td> <td>739,417</td> </tr> </tbody> </table>		取得価額相当額 （千円）	減価償却累計額相当額 （千円）	期末残高相当額 （千円）	工具器具備品	1,543,525	804,108	739,417	合計	1,543,525	804,108	739,417
	取得価額相当額 （千円）	減価償却累計額相当額 （千円）	第3四半期連結会計期間末残高相当額 （千円）																																											
工具器具備品	1,572,429	921,662	650,767																																											
合計	1,572,429	921,662	650,767																																											
	取得価額相当額 （千円）	減価償却累計額相当額 （千円）	第3四半期連結会計期間末残高相当額 （千円）																																											
車両運搬具	8,818	2,848	5,970																																											
工具器具備品	1,461,651	902,509	559,141																																											
ソフトウェア	45,135	1,504	43,630																																											
合計	1,515,604	906,863	608,741																																											
	取得価額相当額 （千円）	減価償却累計額相当額 （千円）	期末残高相当額 （千円）																																											
工具器具備品	1,543,525	804,108	739,417																																											
合計	1,543,525	804,108	739,417																																											
<p>②未経過リース料第3四半期連結会計期間末残高相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年内</td> <td>348,001千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>484,350千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>832,351千円</td> </tr> </tbody> </table>	1年内	348,001千円	1年超	484,350千円	合計	832,351千円	<p>②未経過リース料第3四半期連結会計期間末残高相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年内</td> <td>399,205千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>193,351千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>592,557千円</td> </tr> </tbody> </table>	1年内	399,205千円	1年超	193,351千円	合計	592,557千円	<p>②未経過リース料期末残高相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年内</td> <td>419,183千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>342,409千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>761,592千円</td> </tr> </tbody> </table>	1年内	419,183千円	1年超	342,409千円	合計	761,592千円																										
1年内	348,001千円																																													
1年超	484,350千円																																													
合計	832,351千円																																													
1年内	399,205千円																																													
1年超	193,351千円																																													
合計	592,557千円																																													
1年内	419,183千円																																													
1年超	342,409千円																																													
合計	761,592千円																																													
<p>③支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>支払リース料</td> <td>265,175千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td>295,391千円</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td>25,902千円</td> </tr> </tbody> </table>	支払リース料	265,175千円	減価償却費相当額	295,391千円	支払利息相当額	25,902千円	<p>③支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>支払リース料</td> <td>289,237千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td>232,260千円</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td>15,334千円</td> </tr> </tbody> </table>	支払リース料	289,237千円	減価償却費相当額	232,260千円	支払利息相当額	15,334千円	<p>③支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>支払リース料</td> <td>345,511千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td>309,173千円</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td>32,153千円</td> </tr> </tbody> </table>	支払リース料	345,511千円	減価償却費相当額	309,173千円	支払利息相当額	32,153千円																										
支払リース料	265,175千円																																													
減価償却費相当額	295,391千円																																													
支払利息相当額	25,902千円																																													
支払リース料	289,237千円																																													
減価償却費相当額	232,260千円																																													
支払利息相当額	15,334千円																																													
支払リース料	345,511千円																																													
減価償却費相当額	309,173千円																																													
支払利息相当額	32,153千円																																													
<p>④減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。</p>	<p>④減価償却費相当額の算定方法 同左</p>	<p>④減価償却費相当額の算定方法 同左</p>																																												
<p>⑤利息相当額の算定方法 リース料総額と見積残存価額の合計額からリース物件の取得価額相当額を控除した額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。</p>	<p>⑤利息相当額の算定方法 同左</p>	<p>⑤利息相当額の算定方法 同左</p>																																												
<p>(2) オペレーティング・リース取引 （借主側）</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>未経過リース料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年内</td> <td>78,000千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>130,000千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>208,000千円</td> </tr> </tbody> </table>	未経過リース料		1年内	78,000千円	1年超	130,000千円	合計	208,000千円	<p>(2) オペレーティング・リース取引 （借主側）</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>未経過リース料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年内</td> <td>78,000千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>52,000千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>130,000千円</td> </tr> </tbody> </table>	未経過リース料		1年内	78,000千円	1年超	52,000千円	合計	130,000千円	<p>(2) オペレーティング・リース取引 （借主側）</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>未経過リース料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年内</td> <td>78,000千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>110,500千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>188,500千円</td> </tr> </tbody> </table>	未経過リース料		1年内	78,000千円	1年超	110,500千円	合計	188,500千円																				
未経過リース料																																														
1年内	78,000千円																																													
1年超	130,000千円																																													
合計	208,000千円																																													
未経過リース料																																														
1年内	78,000千円																																													
1年超	52,000千円																																													
合計	130,000千円																																													
未経過リース料																																														
1年内	78,000千円																																													
1年超	110,500千円																																													
合計	188,500千円																																													

前第3四半期連結会計期間 （自平成18年9月1日 至平成19年5月31日）	当第3四半期連結会計期間 （自平成19年9月1日 至平成20年5月31日）	前連結会計年度 （自平成18年9月1日 至平成19年8月31日）																																				
<p>(3) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 （貸主側）</p> <p>① リース物件の取得価額、減価償却累計額及び第3四半期連結会計期間末残高</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額 （千円）</th> <th>減価償却累計額 （千円）</th> <th>第3四半期連結会計期間末残高 （千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工具器具備品</td> <td>55,193</td> <td>17,550</td> <td>37,642</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>55,193</td> <td>17,550</td> <td>37,642</td> </tr> </tbody> </table>		取得価額 （千円）	減価償却累計額 （千円）	第3四半期連結会計期間末残高 （千円）	工具器具備品	55,193	17,550	37,642	合計	55,193	17,550	37,642	<p>(3) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 （貸主側）</p> <p>① リース物件の取得価額、減価償却累計額及び第3四半期連結会計期間末残高</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額 （千円）</th> <th>減価償却累計額 （千円）</th> <th>第3四半期連結会計期間末残高 （千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工具器具備品</td> <td>53,755</td> <td>32,879</td> <td>20,875</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>53,755</td> <td>32,879</td> <td>20,875</td> </tr> </tbody> </table>		取得価額 （千円）	減価償却累計額 （千円）	第3四半期連結会計期間末残高 （千円）	工具器具備品	53,755	32,879	20,875	合計	53,755	32,879	20,875	<p>(3) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 （貸主側）</p> <p>① リース物件の取得価額、減価償却累計額及び期末残高</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額 （千円）</th> <th>減価償却累計額 （千円）</th> <th>期末残高 （千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工具器具備品</td> <td>55,193</td> <td>21,343</td> <td>33,850</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>55,193</td> <td>21,343</td> <td>33,850</td> </tr> </tbody> </table>		取得価額 （千円）	減価償却累計額 （千円）	期末残高 （千円）	工具器具備品	55,193	21,343	33,850	合計	55,193	21,343	33,850
	取得価額 （千円）	減価償却累計額 （千円）	第3四半期連結会計期間末残高 （千円）																																			
工具器具備品	55,193	17,550	37,642																																			
合計	55,193	17,550	37,642																																			
	取得価額 （千円）	減価償却累計額 （千円）	第3四半期連結会計期間末残高 （千円）																																			
工具器具備品	53,755	32,879	20,875																																			
合計	53,755	32,879	20,875																																			
	取得価額 （千円）	減価償却累計額 （千円）	期末残高 （千円）																																			
工具器具備品	55,193	21,343	33,850																																			
合計	55,193	21,343	33,850																																			
<p>② 未経過リース料第3四半期連結会計期間末残高相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年内</td> <td>15,712千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>26,422千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>42,135千円</td> </tr> </tbody> </table>	1年内	15,712千円	1年超	26,422千円	合計	42,135千円	<p>② 未経過リース料第3四半期連結会計期間末残高相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年内</td> <td>19,828千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>5,615千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25,443千円</td> </tr> </tbody> </table>	1年内	19,828千円	1年超	5,615千円	合計	25,443千円	<p>② 未経過リース料期末残高相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年内</td> <td>16,831千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>21,757千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>38,588千円</td> </tr> </tbody> </table>	1年内	16,831千円	1年超	21,757千円	合計	38,588千円																		
1年内	15,712千円																																					
1年超	26,422千円																																					
合計	42,135千円																																					
1年内	19,828千円																																					
1年超	5,615千円																																					
合計	25,443千円																																					
1年内	16,831千円																																					
1年超	21,757千円																																					
合計	38,588千円																																					
<p>③ 受取リース料、減価償却費及び受取利息相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>受取リース料</td> <td>13,461千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td>9,258千円</td> </tr> <tr> <td>受取利息相当額</td> <td>5,912千円</td> </tr> </tbody> </table>	受取リース料	13,461千円	減価償却費	9,258千円	受取利息相当額	5,912千円	<p>③ 受取リース料、減価償却費及び受取利息相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>受取リース料</td> <td>17,819千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td>11,776千円</td> </tr> <tr> <td>受取利息相当額</td> <td>6,016千円</td> </tr> </tbody> </table>	受取リース料	17,819千円	減価償却費	11,776千円	受取利息相当額	6,016千円	<p>③ 受取リース料、減価償却費及び受取利息相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>受取リース料</td> <td>19,815千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td>13,051千円</td> </tr> <tr> <td>受取利息相当額</td> <td>8,720千円</td> </tr> </tbody> </table>	受取リース料	19,815千円	減価償却費	13,051千円	受取利息相当額	8,720千円																		
受取リース料	13,461千円																																					
減価償却費	9,258千円																																					
受取利息相当額	5,912千円																																					
受取リース料	17,819千円																																					
減価償却費	11,776千円																																					
受取利息相当額	6,016千円																																					
受取リース料	19,815千円																																					
減価償却費	13,051千円																																					
受取利息相当額	8,720千円																																					
<p>④ 利息相当額の算定方法</p> <p>リース料総額と見積残存価額の合計額からリース物件の購入価額を控除した額を利息相当額とし、各期への配分は利息法によっております。</p>	<p>④ 利息相当額の算定方法</p> <p>同左</p>	<p>④ 利息相当額の算定方法</p> <p>同左</p>																																				

(有価証券関係)

前第3四半期連結会計期間末(平成19年5月31日)

1. その他有価証券で時価のあるもの

種類	取得原価(千円)	四半期連結貸借対照表計上額(千円)	差額(千円)
株式	532	532	—
合計	532	532	—

2. 時価評価されていない主な有価証券の内容

	四半期連結貸借対照表計上額(千円)
その他有価証券	
①非上場株式	30,382
②組合契約出資持分	9,239
③その他	5,000
合計	44,622

当第3四半期連結会計期間末(平成20年5月31日)

1. その他有価証券で時価のあるもの

種類	取得原価(千円)	四半期連結貸借対照表計上額(千円)	差額(千円)
株式	246	199	△46
その他	5,000	8,470	3,470
合計	5,246	8,670	3,424

2. 時価評価されていない主な有価証券の内容

	四半期連結貸借対照表計上額(千円)
その他有価証券	
非上場株式	30,382
合計	30,382

前連結会計年度末(平成19年8月31日)

1. その他有価証券で時価のあるもの

種類	取得原価(千円)	連結貸借対照表計上額 (千円)	差額(千円)
株式	532	291	△241
その他	5,000	10,383	5,383
合計	5,532	10,674	5,142

2. 時価評価されていない主な有価証券の内容

	連結貸借対照表計上額 (千円)
その他有価証券	
①非上場株式	30,382
②組合契約出資持分	9,239
合計	39,622

(デリバティブ取引関係)

前第3四半期連結会計期間末(平成19年5月31日現在)

当社グループは、金利スワップ取引及び金利キャップ取引を利用していますが、特例処理の要件を満たしている金利スワップ取引及び金利キャップ取引のみであるため、記載しておりません。

当第3四半期連結会計期間末(平成20年5月31日現在)

当社グループは、金利スワップ取引及び金利キャップ取引を利用していますが、特例処理の要件を満たしている金利スワップ取引及び金利キャップ取引のみであるため、記載しておりません。

前連結会計年度末(平成19年8月31日現在)

当社グループは、金利スワップ取引及び金利キャップ取引を利用していますが、特例処理の要件を満たしている金利スワップ取引及び金利キャップ取引のみであるため、記載しておりません。

(ストック・オプション等関係)

前第3四半期連結会計期間(自平成18年9月1日至平成19年5月31日)

1. スtock・オプションに係る当第3四半期連結会計期間における費用計上額及び科目名
該当事項はありません。
2. 当第3四半期連結会計期間に付与したストック・オプションの内容
該当事項はありません。

当第3四半期連結会計期間(自平成19年9月1日至平成20年5月31日)

1. スtock・オプションに係る当第3四半期連結会計期間における費用計上額及び科目名
該当事項はありません。
2. 当第3四半期連結会計期間に付与したストック・オプションの内容
該当事項はありません。

前連結会計年度(自平成18年9月1日至平成19年8月31日)

1. スtock・オプションに係る当連結会計年度における費用計上額及び科目名
該当事項はありません。
2. 当連結会計年度に付与したストック・オプションの内容
該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(自平成18年9月1日至平成19年5月31日)

	カラオケルーム運営事業 (千円)	ビリヤード・ダーツ遊技場運営事業 (千円)	まんが喫茶(複合カフェ)運営事業 (千円)	音響設備販売事業 (千円)	音源販売事業 (千円)	フルサービス型珈琲ショップ運営事業 (千円)	その他の事業 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	3,842,634	308,504	337,795	173,445	100,460	369,661	9,606
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	72,428	29,925	—	—
計	3,842,634	308,504	337,795	245,874	130,386	369,661	9,606
営業費用	3,204,597	269,163	383,526	260,491	141,532	369,561	4,177
営業利益(又は営業損失△)	638,036	39,340	△45,731	△14,616	△11,145	100	5,429

	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	5,142,109	—	5,142,109
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	102,354	(102,354)	—
計	5,244,463	(102,354)	5,142,109
営業費用	4,633,051	186,297	4,819,348
営業利益(又は営業損失△)	611,412	(288,652)	322,760

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な内容

- (1)カラオケルーム運営事業 : カラオケルームの直営店の営業
- (2)ビリヤード・ダーツ遊技場運営事業 : ビリヤード・ダーツ場の直営店の営業
- (3)まんが喫茶(複合カフェ)運営事業 : まんが喫茶(複合カフェ)店の直営店の営業
- (4)音響設備販売事業 : 音響設備のハードウェア及びソフトウェアの制作販売事業
- (5)音源販売事業 : 携帯電話用着信メロディ等の音源の制作販売事業
- (6)フルサービス型珈琲ショップ運営事業 : フルサービス型珈琲ショップの運営事業
- (7)その他の事業 : 鉄人システムのレンタル事業

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は301,839千円であり、これは主に親会社本社のグループ管理部門に係る費用であります。

当第3四半期連結会計期間(自平成19年9月1日至平成20年5月31日)

	カラオケ ルーム運 営事業 (千円)	ビリヤード・ダー ツ遊技場 運営事業 (千円)	まんが喫 茶(複合 カフェ) 運営事業 (千円)	音響設備 販売事業 (千円)	音源販売 事業 (千円)	フルサービ ス型珈琲 ショップ 運営事業 (千円)	その他の 事業 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,107,569	304,903	262,855	134,545	128,935	454,335	6,095
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	100,233	30,114	—	—
計	4,107,569	304,903	262,855	234,778	159,049	454,335	6,095
営業費用	3,252,633	243,328	253,276	226,390	155,243	476,557	3,822
営業利益(又は営業損失△)	854,935	61,574	9,579	8,388	3,805	△22,222	2,273

	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,399,239	—	5,399,239
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	130,347	(130,347)	—
計	5,529,586	(130,347)	5,399,239
営業費用	4,611,252	254,730	4,865,982
営業利益(又は営業損失△)	918,334	(385,077)	533,256

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な内容

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| (1)カラオケルーム運営事業 | : カラオケルームの直営店の営業 |
| (2)ビリヤード・ダーツ遊技場運営事業 | : ビリヤード・ダーツ場の直営店の営業 |
| (3)まんが喫茶(複合カフェ)運営事業 | : まんが喫茶(複合カフェ)店の直営店の営業 |
| (4)音響設備販売事業 | : 音響設備のハードウェア及びソフトウェアの制作販売事業 |
| (5)音源販売事業 | : 携帯電話用着信メロディ等の音源の制作販売事業 |
| (6)フルサービス型珈琲ショップ運営事業 | : フルサービス型珈琲ショップの運営事業 |
| (7)その他の事業 | : 鉄人システムのレンタル事業 |

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は401,299千円であり、これは主に親会社本社のグループ管理部門に係る費用であります。

前連結会計年度(自平成18年9月1日至平成19年8月31日)

	カラオケ ルーム運 営事業 (千円)	ビリヤード・ダー ツ遊技場 運営事業 (千円)	まんが喫 茶(複合 カフェ) 運営事業 (千円)	音響設備 販売事業 (千円)	音源販売 事業 (千円)	フルサービ ス型珈琲 ショップ 運営事業 (千円)	その他の 事業 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,115,155	411,285	439,819	232,213	137,402	492,716	11,638
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	137,024	37,756	—	—
計	5,115,155	411,285	439,819	369,237	175,159	492,716	11,638
営業費用	4,286,025	355,583	486,478	361,260	188,068	491,493	5,444
営業利益(又は営業損失△)	829,130	55,701	△46,659	7,977	△12,909	1,222	6,194

	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,840,231	—	6,840,231
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	174,780	(174,780)	—
計	7,015,012	(174,780)	6,840,231
営業費用	6,174,353	252,704	6,427,058
営業利益(又は営業損失△)	840,658	(427,485)	413,172

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な内容

- (1)カラオケルーム運営事業 : カラオケルームの直営店の営業
- (2)ビリヤード・ダーツ遊技場運営事業 : ビリヤード・ダーツ場の直営店の営業
- (3)まんが喫茶(複合カフェ)運営事業 : まんが喫茶(複合カフェ)店の直営店の営業
- (4)音響設備販売事業 : 音響設備のハードウェア及びソフトウェアの製作販売事業
- (5)音源販売事業 : 携帯電話用着信メロディ等の音源の制作販売事業
- (6)フルサービス型珈琲ショップ運営事業 : フルサービス型珈琲ショップの運営事業

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は423,180千円であり、これは主に親会社本社のグループ管理部門に係る費用であります。

2. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間（自 平成18年9月1日 至 平成19年5月31日）

当社グループは、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結会計期間（自 平成19年9月1日 至 平成20年5月31日）

当社グループは、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

前連結会計年度（自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日）

当社グループは、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 海外売上高

前第3四半期連結会計期間（自 平成18年9月1日 至 平成19年5月31日）

当社グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結会計期間（自 平成19年9月1日 至 平成20年5月31日）

当社グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

前連結会計年度（自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日）

当社グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前第3四半期連結会計期間 (自平成18年9月1日 至平成19年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成19年9月1日 至平成20年5月31日)	前連結会計年度 (自平成18年9月1日 至平成19年8月31日)
1株当たり純資産額 46,337円44銭	1株当たり純資産額 49,534円59銭	1株当たり純資産額 46,564円07銭
1株当たり第3四半期純利益金額 1,528円28銭	1株当たり第3四半期純利益金額 3,498円92銭	1株当たり当期純利益金額 1,665円66銭
潜在株式調整後1株当たり第3四半期純利益金額 1,518円50銭	潜在株式調整後1株当たり第3四半期純利益金額 潜在株式調整後1株当たり第3四半期純利益金額につきましては、潜在株式はありますが希薄化効果を有しないため記載しておりません。	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 1,656円34銭

(注) 1株当たり第3四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり第3四半期(当期)純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成18年9月1日 至平成19年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成19年9月1日 至平成20年5月31日)	前連結会計年度 (自平成18年9月1日 至平成19年8月31日)
1株当たり第3四半期(当期)純利益金額			
第3四半期(当期)純利益(千円)	50,534	115,702	55,076
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—	—
普通株式に係る第3四半期(当期)純利益(千円)	50,534	115,702	55,076
期中平均株式数(株)	33,066	33,068	33,066
潜在株式調整後1株当たり第3四半期(当期)純利益金額			
普通株式増加数(株)	213	—	186
(うち新株予約権)	(213)	—	(186)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり第3四半期(当期)純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	平成17年11月25日定時株主総会決議による新株予約権方式のストック・オプション(株式の数860株)	平成15年6月26日定時株主総会決議による新株予約権方式のストック・オプション(株式の数440株) 平成17年11月25日定時株主総会決議による新株予約権方式のストック・オプション(株式の数777株)	平成17年11月25日定時株主総会決議による新株予約権方式のストック・オプション(株式の数819株)

（重要な後発事象）

前第3四半期連結会計期間 （自 平成18年9月1日 至 平成19年5月31日）	当第3四半期連結会計期間 （自 平成19年9月1日 至 平成20年5月31日）	前連結会計年度 （自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日）
	<p>会社分割</p> <p>当社は、平成20年3月25日開催の取締役会において、当社の100%子会社である（株）クリエイト・ユーに対し、平成20年6月1日をもって、当社のまんが喫茶（複合カフェ）運営事業を会社分割（吸収分割）により承継させることを決議いたしました。</p> <p>なお吸収分割は、平成20年6月1日に実施しております。</p> <p>（1）目的</p> <p>当社グループにおける「まんが喫茶（複合カフェ）運営事業」は「アジュールエッセ」、「まんが帝国」等の店舗名で8店舗を運営しており、当社が運営する4店舗と連結子会社である（株）クリエイト・ユーが運営する4店舗で構成されております。</p> <p>この度の会社分割は、当事業を（株）クリエイト・ユーに集約することで、これまで以上に迅速かつ適切に意思決定ができる体制の整備と事業運営の効率化を通じて、当社グループ全体の収益拡大を図ることを目的としております。</p> <p>（2）分割の日程</p> <p>吸収分割決議 平成20年3月25日 取締役会</p> <p>吸収分割 平成20年3月26日 契約締結</p> <p>分割期日 平成20年6月1日 （効力発生日）</p> <p>（3）分割の形態</p> <p>当社を分割会社とし、（株）クリエイト・ユーを承継会社とする吸収分割（簡易分割）</p> <p>（4）株式の割当て</p> <p>承継会社は分割に際して普通株式1株を発行し、これをすべて当社に割り当てます。</p> <p>（5）株式割当比率の算定根拠</p> <p>本分割前後で当社の承継会社に対する持株比率が変化せず、かつ、当社の純資産の額が変動しないことから、両者協議の上、割当株数を決定いたしました。</p> <p>（6）承継会社が承継する権利義務</p> <p>本分割において、当社から（株）クリエイト・ユーに承継される権利義務は、吸収分割契約書に別段の合意がなされたものを除き、平成19年8月31日現在の貸借対照表その他同日現在の計算を基礎とし、これに本件分割の効力発生日の前日までの増減を加除した資産、負債及び権利義務といたします。なお、債務の承継は重畳的債務引受の方法によるものといたします。</p>	

前第3四半期連結会計期間 (自平成18年9月1日 至平成19年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成19年9月1日 至平成20年5月31日)	前連結会計年度 (自平成18年9月1日 至平成19年8月31日)
	<p>(7) 分割する事業の概要</p> <p>①分割する部門の内容 まんが喫茶(複合カフェ)</p> <p>②分割する部門の平成19年8月期における主な経営成績 売上高 159,060千円</p> <p>③分割する資産、負債の項目及び金額 (平成19年8月31日現在)</p> <p>流動資産 1,012千円 固定資産 59,031千円 資産合計 60,044千円 流動負債 ー千円 固定負債 ー千円 負債合計 ー千円</p> <p>(8) 承継会社の概要 (平成19年8月31日現在)</p> <p>商号 (株)クリエイト・ユー 事業内容 まんが喫茶(複合カフェ)の店舗運営 設立年月日 昭和63年5月6日 本店所在地 東京都目黒区中目黒二丁目6番20号 代表者の代表取締役社長 役職・氏名 日野洋一 発行済株式数 400株 資本金 20,000千円 純資産 81,780千円(単体) 総資産 120,986千円(単体) 決算期 8月31日</p> <p>(9) 実施する会計処理の概要 本分割は、共通支配下の取引に該当するため、内部取引としてすべて消去いたします。したがって、この取引が損益に与える影響はありません。</p>	

6. 四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

区分	注記 番号	前第3四半期会計期間末 (平成19年5月31日)		当第3四半期会計期間末 (平成20年5月31日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成19年8月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)							
I 流動資産							
1 現金及び預金	※2	807,591		1,006,979		815,628	
2 受取手形		17,066		9,244		14,933	
3 売掛金		36,731		45,872		32,298	
4 たな卸資産		35,595		40,601		37,603	
5 その他		233,750		313,078		231,354	
貸倒引当金		△696		—		—	
流動資産合計		1,130,039	20.3	1,415,776	25.1	1,131,818	20.5
II 固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物	※1	1,780,399		1,657,240		1,799,929	
(2) 工具器具備品	※1	276,703		218,368		253,144	
(3) その他	※1	297,362		279,568		294,404	
有形固定資産合計		2,354,465	42.3	2,155,177	38.2	2,347,479	42.5
2 無形固定資産							
(1) ソフトウェア		49,372		73,677		72,801	
(2) その他		13,314		54,759		12,964	
無形固定資産合計		62,686	1.1	128,437	2.3	85,765	1.5
3 投資その他の資産							
(1) 関係会社株式		875,500		875,500		875,500	
(2) 出資金		140		140		140	
(3) 長期前払費用		98,283		72,976		87,232	
(4) 差入保証金	※2	875,184		843,286		864,020	
(5) その他		170,360		147,755		133,343	
貸倒引当金		—		△1,396		△696	
投資その他の資産合計		2,019,468	36.3	1,938,261	34.4	1,959,540	35.5
固定資産合計		4,436,620	79.7	4,221,875	74.9	4,392,784	79.5
資産合計		5,566,660	100.0	5,637,652	100.0	5,524,602	100.0

		前第3四半期会計期間末 (平成19年5月31日)		当第3四半期会計期間末 (平成20年5月31日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成19年8月31日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)							
I 流動負債							
1		95,761		99,744		101,156	
2	※2,4	165,000		133,336		210,000	
3	※2,4	1,115,686		1,276,489		1,093,573	
4		310,000		180,000		310,000	
5		27,876		66,451		121,524	
6		281,426		317,898		284,621	
7		102,899		123,895		124,170	
8		6,546		6,413		7,566	
9	※5	77,335		70,944		84,579	
		2,182,532	39.2	2,275,173	40.4	2,337,191	42.3
II 固定負債							
1		120,000		240,000		75,000	
2	※2,4	1,588,887		1,296,082		1,419,088	
3		4,845		—		2,858	
4		87,041		100,111		84,871	
		1,800,773	32.4	1,636,193	29.0	1,581,817	28.6
		3,983,306	71.6	3,911,366	69.4	3,919,009	70.9
(純資産の部)							
I 株主資本							
1		732,394	13.1	732,394	13.0	732,394	13.3
2							
(1)		724,744		724,744		724,744	
		724,744	13.0	724,744	12.9	724,744	13.1
3							
(1)							
		126,214		267,087		145,260	
		126,214	2.3	267,087	4.7	145,260	2.6
		1,583,353	28.4	1,724,227	30.6	1,602,400	29.0
II 評価・換算差額等							
1		—	—	2,058	0.0	3,192	0.1
		—	—	2,058	0.0	3,192	0.1
		1,583,353	28.4	1,726,285	30.6	1,605,593	29.1
		5,566,660	100.0	5,637,652	100.0	5,524,602	100.0

(2) 四半期損益計算書

区分	注記 番号	前第3四半期会計期間 (自平成18年9月1日 至平成19年5月31日)		当第3四半期会計期間 (自平成19年9月1日 至平成20年5月31日)		前事業年度の 要約損益計算書 (自平成18年9月1日 至平成19年8月31日)	
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高		4,406,413	100.0	4,650,054	100.0	5,860,172	100.0
II 売上原価		3,628,214	82.3	3,535,875	76.0	4,825,698	82.3
売上総利益		778,199	17.7	1,114,178	24.0	1,034,473	17.7
III 販売費及び一般管理費		469,925	10.7	582,456	12.6	644,691	11.0
営業利益		308,273	7.0	531,721	11.4	389,782	6.7
IV 営業外収益	※1	40,977	0.9	39,945	0.9	54,019	0.9
V 営業外費用	※2	64,497	1.5	71,288	1.5	83,051	1.4
経常利益		284,754	6.4	500,378	10.8	360,750	6.2
VI 特別損失	※3,4	132,000	3.0	238,378	5.1	138,208	2.4
税引前第3四半期(当期) 純利益		152,753	3.4	262,000	5.7	222,542	3.8
法人税、住民税及び事業税		96,682	2.2	174,454	3.8	113,858	2.0
法人税等調整額		△20,862	△0.5	△50,814	△1.1	12,703	0.2
第3四半期(当期)純利益		76,933	1.7	138,360	3.0	95,980	1.6

(3) 四半期株主資本等変動計算書

前第3四半期会計期間(自平成18年9月1日至平成19年5月31日)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
平成18年8月31日 残高(千円)	732,295	724,645	724,645	49,280	49,280	1,506,221	1,506,221
第3四半期会計期間中の変動額							
ストックオプション行使による新株の発行	99	99	99			198	198
第3四半期純利益				76,933	76,933	76,933	76,933
株主資本以外の項目の第3四半期会計期間中の変動額(純額)							—
第3四半期会計期間中の変動額合計(千円)	99	99	99	76,933	76,933	77,132	77,132
平成19年5月31日 残高(千円)	732,394	724,744	724,744	126,214	126,214	1,583,353	1,583,353

当第3四半期会計期間(自平成19年9月1日至平成20年5月31日)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
平成19年8月31日 残高(千円)	732,394	724,744	724,744	145,260	145,260	1,602,400
第3四半期会計期間中の変動額						
剰余金の配当				△ 16,534	△ 16,534	△ 16,534
第3四半期純利益				138,360	138,360	138,360
株主資本以外の項目の第3四半期会計期間中の変動額(純額)						—
第3四半期会計期間中の変動額合計(千円)	—	—	—	121,826	121,826	121,826
平成20年5月31日 残高(千円)	732,394	724,744	724,744	267,087	267,087	1,724,227

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年8月31日 残高(千円)	3,192	3,192	1,605,593
第3四半期会計期間中の変動額			
剰余金の配当			△ 16,534
第3四半期純利益			138,360
株主資本以外の項目の第3四半期会計期間中の変動額(純額)	△ 1,134	△ 1,134	△ 1,134
第3四半期会計期間中の変動額合計(千円)	△ 1,134	△ 1,134	120,692
平成20年5月31日 残高(千円)	2,058	2,058	1,726,285

前事業年度の株主資本等変動計算書(自平成18年9月1日至平成19年8月31日)

	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金合計	
				繰越利益剰余金		
平成18年8月31日 残高(千円)	732,295	724,645	724,645	49,280	49,280	1,506,221
事業年度中の変動額						
ストックオプション行使 による新株の発行	99	99	99			198
当期純利益				95,980	95,980	95,980
株主資本以外の項目の事 業年度中の変動額(純額)						
事業年度中の変動額合計(千円)	99	99	99	95,980	95,980	96,178
平成19年8月31日 残高(千円)	732,394	724,744	724,744	145,260	145,260	1,602,400

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年8月31日 残高(千円)	—	—	1,506,221
事業年度中の変動額			
ストックオプション行使 による新株の発行			198
当期純利益			95,980
株主資本以外の項目の事 業年度中の変動額(純額)	3,192	3,192	3,192
事業年度中の変動額合計(千円)	3,192	3,192	99,371
平成19年8月31日 残高(千円)	3,192	3,192	1,605,593

四半期財務諸表作成の基本となる重要な事項

項目	前第3四半期会計期間 (自平成18年9月1日 至平成19年5月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成19年9月1日 至平成20年5月31日)	前事業年度 (自平成18年9月1日 至平成19年8月31日)
1. 資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 有価証券 子会社株式 移動平均法による原価法</p> <p>その他有価証券 時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>ただし、投資事業組合への出資金は、組合財産の持分相当額を投資有価証券として計上し、組合契約に規定される決算報告に基づく純損益の持分相当額を当第3四半期会計期間の損益として計上する方法(純額方式)によっております。</p> <p>(2) たな卸資産 最終仕入原価法</p>	<p>(1) 有価証券 子会社株式 同左</p> <p>その他有価証券 時価のあるもの 四半期末日の市場価額等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。</p> <p>時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>(2) たな卸資産 同左</p>	<p>(1) 有価証券 子会社株式 同左</p> <p>その他有価証券 時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。</p> <p>時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>ただし、投資事業組合への出資金は、組合財産の持分相当額を投資有価証券として計上し、組合契約に規定される決算報告に基づく純損益の持分相当額を当事業年度の損益として計上する方法(純額方式)によっております。</p> <p>(2) たな卸資産 同左</p>
2. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法</p> <p>ただし、建物(建物附属設備を除く)については、法人税法に定める定額法によっております。</p> <p>なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。</p> <p>また、取得価額20万円未満の少額減価償却資産については、事業年度毎に一括して3年間で均等償却しております。</p>	<p>(1) 有形固定資産 同左</p>	<p>(1) 有形固定資産 同左</p>

項目	前第3四半期会計期間 (自平成18年9月1日 至平成19年5月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成19年9月1日 至平成20年5月31日)	前事業年度 (自平成18年9月1日 至平成19年8月31日)
	<p>(2) 無形固定資産 定額法 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p> <p>(3) 長期前払費用 定額法 なお、償却期間については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。</p>	<p>(追加情報) 当社は、法人税法の改正に伴い平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。 なお、この変更による営業利益、経常利益及び税引前第3四半期純利益に与える影響は軽微であります。</p> <p>(2) 無形固定資産 同左</p> <p>(3) 長期前払費用 同左</p>	<p>(会計方針の変更) 平成19年度の法人税法の改正((所得税法等の一部を改正する法律 平成19年3月30日 法律第6号)及び(法人税法施行令の一部を改正する法令 平成19年3月30日 政令第83号))に伴い、平成19年4月1日以降に取得したのものについては、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。 これに伴う損益への影響は軽微であります。</p> <p>(2) 無形固定資産 同左</p> <p>(3) 長期前払費用 同左</p>
3. 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金 売上債権等の貸倒損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権について個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 従業員への賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち、当第3四半期会計期間の負担額を計上しております。</p>	<p>(1) 貸倒引当金 同左</p> <p>(2) 賞与引当金 同左</p>	<p>(1) 貸倒引当金 同左</p> <p>(2) 賞与引当金 従業員への賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち、当事業年度の負担額を計上しております。</p>

項目	前第3四半期会計期間 (自 平成18年9月1日 至 平成19年5月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成19年9月1日 至 平成20年5月31日)	前事業年度 (自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日)
4. リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。	同左	同左
5. ヘッジ会計の方法	<p>(1) ヘッジ会計の方法 原則として繰延ヘッジ処理によっております。 また、特例処理の要件を満たしている金利スワップ及び金利キャップについては特例処理によっております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 当第3四半期会計期間にヘッジ会計を適用したヘッジ手段とヘッジ対象は以下のとおりであります。 ヘッジ手段 金利スワップ及び金利キャップ ヘッジ対象 借入金</p> <p>(3) ヘッジ方針 デリバティブ取引に関する社内規程に基づき、ヘッジ対象に係る金利変動リスクを一定の範囲内でヘッジしております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性の評価の方法 特例処理の要件を満たしている金利スワップ取引及び金利キャップ取引のみであるため、有効性の評価を省略しております。</p>	<p>(1) ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 同左 ヘッジ手段 同左 ヘッジ対象 同左</p> <p>(3) ヘッジ方針 同左</p> <p>(4) ヘッジ有効性の評価の方法 同左</p>	<p>(1) ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 当事業年度にヘッジ会計を適用したヘッジ手段とヘッジ対象は以下のとおりであります。 ヘッジ手段 同左 ヘッジ対象 同左</p> <p>(3) ヘッジ方針 同左</p> <p>(4) ヘッジ有効性の評価の方法 同左</p>
6. その他四半期財務諸表(財務諸表)作成のための基本となる重要な事項	消費税等の処理方法 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。	消費税等の処理方法 同左	消費税等の処理方法 同左

(4) 注記事項

(四半期貸借対照表関係)

前第3四半期会計期間末 (平成19年5月31日)	当第3四半期会計期間末 (平成20年5月31日)	前事業年度末 (平成19年8月31日)																																													
<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額 1,325,459千円</p> <p>※2 担保に供している資産 (1)担保に供している資産 定期預金 40,071千円 差入保証金 146,983千円 合計 187,055千円 (2)上記に対応する債務 短期借入金 90,000千円 長期借入金 1,117,582千円 (一年以内返済予定長期借入金を含む) 3 偶発債務 債務保証 次の関係会社について、金融機関からの借入等に対し、債務保証を行っております。</p>	<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額 1,350,987千円</p> <p>※2 担保に供している資産 (1)担保に供している資産 定期預金 40,163千円 差入保証金 131,131千円 合計 171,294千円 (2)上記に対応する債務 長期借入金 815,940千円 (一年以内返済予定長期借入金を含む) 3 偶発債務 債務保証 次の関係会社について、金融機関からの借入等に対し、債務保証を行っております。</p>	<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額 1,262,253千円</p> <p>※2 担保に供している資産 (1)担保に供している資産 定期預金 40,103千円 差入保証金 146,983千円 合計 187,087千円 (2)上記に対応する債務 短期借入金 60,000千円 長期借入金 1,021,363千円 (一年以内返済予定長期借入金を含む) 3 偶発債務 債務保証 次の関係会社について、金融機関からの借入等に対し、債務保証を行っております。</p>																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>保証先</th> <th>金額 (千円)</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>株システム プラン ベネックス</td> <td>84,819</td> <td>借入債務</td> </tr> <tr> <td>株エクセル シア</td> <td>18,324</td> <td>借入債務</td> </tr> <tr> <td>からふね屋 珈琲(株)</td> <td>4,758</td> <td>リース債務</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>107,901</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	保証先	金額 (千円)	内容	株システム プラン ベネックス	84,819	借入債務	株エクセル シア	18,324	借入債務	からふね屋 珈琲(株)	4,758	リース債務	合計	107,901	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>保証先</th> <th>金額 (千円)</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>株システム プラン ベネックス</td> <td>57,975</td> <td>借入債務</td> </tr> <tr> <td>株エクセル シア</td> <td>8,316</td> <td>借入債務</td> </tr> <tr> <td>からふね屋 珈琲(株)</td> <td>101,521</td> <td>借入債務 及び リース債務</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>167,812</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	保証先	金額 (千円)	内容	株システム プラン ベネックス	57,975	借入債務	株エクセル シア	8,316	借入債務	からふね屋 珈琲(株)	101,521	借入債務 及び リース債務	合計	167,812	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>保証先</th> <th>金額 (千円)</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>株システム プラン ベネックス</td> <td>78,108</td> <td>借入債務</td> </tr> <tr> <td>株エクセル シア</td> <td>15,822</td> <td>借入債務</td> </tr> <tr> <td>からふね屋 珈琲(株)</td> <td>4,474</td> <td>リース債務</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>98,404</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	保証先	金額 (千円)	内容	株システム プラン ベネックス	78,108	借入債務	株エクセル シア	15,822	借入債務	からふね屋 珈琲(株)	4,474	リース債務	合計	98,404	—
保証先	金額 (千円)	内容																																													
株システム プラン ベネックス	84,819	借入債務																																													
株エクセル シア	18,324	借入債務																																													
からふね屋 珈琲(株)	4,758	リース債務																																													
合計	107,901	—																																													
保証先	金額 (千円)	内容																																													
株システム プラン ベネックス	57,975	借入債務																																													
株エクセル シア	8,316	借入債務																																													
からふね屋 珈琲(株)	101,521	借入債務 及び リース債務																																													
合計	167,812	—																																													
保証先	金額 (千円)	内容																																													
株システム プラン ベネックス	78,108	借入債務																																													
株エクセル シア	15,822	借入債務																																													
からふね屋 珈琲(株)	4,474	リース債務																																													
合計	98,404	—																																													

前第3四半期会計期間末 (平成19年5月31日)	当第3四半期会計期間末 (平成20年5月31日)	前事業年度末 (平成19年8月31日)						
※4	<p>※4 シンジケート・ローン</p> <p>(1)当社は、平成20年2月6日にシンジケート・ローン契約を締結しており、当第3四半期会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。</p> <table border="0" data-bbox="638 403 957 515"> <tr> <td>金額の総額</td> <td>850,000千円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td>42,500千円</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>807,500千円</td> </tr> </table> <p>(2)当該契約には次の条項が付されております。</p> <p>借入人は、全貸付人との関係で本契約が終了し、かつ貸付人及びエージェントに対する本契約上のすべての債務の履行が完了するまで、本契約締結日以降の各決算期末日（各事業年度の末日）において、以下の条件を充足することを確約する。</p> <p>①連結貸借対照表及び単体の貸借対照表における純資産の部の金額を、当該決算期の直前の決算期末日の金額又は平成19年8月期末の金額のいずれか大きい方の75%以上に維持すること。</p> <p>②連結損益計算書及び単体の損益計算書上の経常損益につき2期（ただし、中間期は含まない。）連続して損失を計上しないこと。</p>	金額の総額	850,000千円	借入実行残高	42,500千円	差引	807,500千円	※4
金額の総額	850,000千円							
借入実行残高	42,500千円							
差引	807,500千円							
<p>※5 消費税等の取扱い</p> <p>仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺の上、流動負債の「その他」に含めて表示しております。</p>	<p>※5 消費税等の取扱い</p> <p>同左</p>	※5						

（四半期損益計算書関係）

前第3四半期会計期間 （自 平成18年9月1日 至 平成19年5月31日）	当第3四半期会計期間 （自 平成19年9月1日 至 平成20年5月31日）	前事業年度 （自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日）
<p>※1 営業外収益のうち主なもの</p> <p>受取利息配当金 1,221千円 受取販売支援金 9,434千円 受取事務受託料 15,400千円 受取保険金 4,062千円 受取設備利用料 5,825千円</p> <p>※2 営業外費用のうち主なもの</p> <p>支払利息 49,558千円</p> <p>※3 特別損失のうち主なもの</p> <p>固定資産除却損 43,617千円 減損損失 88,382千円</p> <p>※4 減損損失</p> <p>(1)概要 当社は、キャッシュ・フローを生み出す最小の単位として、店舗ごとに資産のグルーピングをしております。 営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなっている店舗を対象とし、回収可能価額が帳簿価額を下回るものについて建物等の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>(2)当第3四半期会計期間において減損損失を計上した資産</p> <p>① 西葛西店 東京都江戸川区 （ビリヤード・建物 ダーツ店舗）</p> <p>② 恵比寿店 東京都渋谷区 （まんが店舗） 建物</p> <p>③ 高尾店 東京都八王子市 （まんが店舗） 建物及び工具器具備品等</p> <p>④ 札幌店 北海道札幌市 （カラオケ店舗） 建物</p> <p>⑤ 中洲店 福岡県福岡市 （複合カフェ店 建物 舗）</p> <p>(3)減損損失の金額</p> <p>建物 79,724千円 工具器具備品 161千円 長期前払費用 4,517千円 差入保証金 3,978千円</p> <p>(4)回収可能価額の算定方法 回収可能価額は将来キャッシュ・フローを4%の割引率で割り引いて計算しております。</p> <p>5 減価償却実施額</p> <p>有形固定資産 253,628千円 無形固定資産 15,020千円</p>	<p>※1 営業外収益のうち主なもの</p> <p>受取利息配当金 1,738千円 受取販売支援金 10,720千円 受取事務受託料 7,740千円 受取保険金 2,919千円 受取設備利用料 6,854千円</p> <p>※2 営業外費用のうち主なもの</p> <p>支払利息 49,184千円</p> <p>※3 特別損失のうち主なもの</p> <p>固定資産除却損 22,303千円 減損損失 214,726千円</p> <p>※4 減損損失</p> <p>(1)概要 同左</p> <p>(2)当第3四半期会計期間において減損損失を計上した資産</p> <p>① 千葉中央店 千葉県千葉市 （まんが店舗） 建物及びその他 （構築物）</p> <p>② 川越店 埼玉県川越市 （カラオケ店舗） 建物及びその他 （構築物）</p> <p>③ 西葛西店 東京都江戸川区 （ビリヤード・建物及びその他 ダーツ店舗） （構築物）</p> <p>④ 土浦店 茨城県土浦市 （まんが店舗） 建物</p> <p>⑤ 津田沼店 千葉県船橋市 （カラオケ店舗） 建物及びその他 （構築物）</p> <p>⑥ 札幌店 北海道札幌市 （カラオケ店舗） 建物及びその他 （構築物・長期前払費用）</p> <p>⑦ 新小岩店 東京都葛飾区 （カラオケ店舗） 建物</p> <p>(3)減損損失の金額</p> <p>建物 186,265千円 構築物 8,455千円 長期前払費用 5,186千円 差入保証金 14,819千円</p> <p>(4)回収可能価額の算定方法 同左</p> <p>5 減価償却実施額</p> <p>有形固定資産 193,936千円 無形固定資産 16,743千円</p>	<p>※1 営業外収益のうち主なもの</p> <p>受取利息配当金 2,126千円 受取販売支援金 12,701千円 受取事務受託料 18,400千円 受取保険金 5,628千円 受取設備利用料 8,110千円</p> <p>※2 営業外費用のうち主なもの</p> <p>支払利息 65,170千円</p> <p>※3 特別損失のうち主なもの</p> <p>固定資産除却損 49,825千円 減損損失 88,382千円</p> <p>※4 減損損失</p> <p>(1)概要 同左</p> <p>(2)当事業年度において減損損失を計上した資産</p> <p>① 西葛西店 東京都江戸川区 （ビリヤード・建物 ダーツ店舗）</p> <p>② 恵比寿店 東京都渋谷区 （まんが店舗） 建物</p> <p>③ 高尾店 東京都八王子市 （まんが店舗） 建物及び工具器具備品等</p> <p>④ 札幌店 北海道札幌市 （カラオケ店舗） 建物</p> <p>⑤ 中洲店 福岡県福岡市 （複合カフェ店 建物 舗）</p> <p>(3)減損損失の金額</p> <p>建物 79,724千円 工具器具備品 161千円 長期前払費用 4,517千円 差入保証金 3,978千円</p> <p>(4)回収可能価額の算定方法 同左</p> <p>5 減価償却実施額</p> <p>有形固定資産 342,054千円 無形固定資産 20,665千円</p>

(四半期株主資本等変動計算書関係)

前第3四半期会計期間(自平成18年9月1日至平成19年5月31日)

自己株式の種類及び株式数に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期会計期間(自平成19年9月1日至平成20年5月31日)

自己株式の種類及び株式数に関する事項

該当事項はありません。

前事業年度(自平成18年9月1日至平成19年8月31日)

自己株式の種類及び株式数に関する事項

該当事項はありません。

（リース取引関係）

前第3四半期会計期間 （自 平成18年9月1日 至 平成19年5月31日）	当第3四半期会計期間 （自 平成19年9月1日 至 平成20年5月31日）	前事業年度 （自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日）																																												
<p>(1) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 （借主側）</p> <p>①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び第3四半期会計期間末残高相当額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額相当額 （千円）</th> <th>減価償却累計額相当額 （千円）</th> <th>第3四半期会計期間末残高相当額 （千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工具器具備品</td> <td>1,618,670</td> <td>934,211</td> <td>684,458</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,618,670</td> <td>934,211</td> <td>684,458</td> </tr> </tbody> </table>		取得価額相当額 （千円）	減価償却累計額相当額 （千円）	第3四半期会計期間末残高相当額 （千円）	工具器具備品	1,618,670	934,211	684,458	合計	1,618,670	934,211	684,458	<p>(1) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 （借主側）</p> <p>①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び第3四半期会計期間末残高相当額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額相当額 （千円）</th> <th>減価償却累計額相当額 （千円）</th> <th>第3四半期会計期間末残高相当額 （千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車両運搬具</td> <td>8,818</td> <td>2,848</td> <td>5,970</td> </tr> <tr> <td>工具器具備品</td> <td>1,526,672</td> <td>926,955</td> <td>599,717</td> </tr> <tr> <td>ソフトウェア</td> <td>45,135</td> <td>1,504</td> <td>43,630</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,580,626</td> <td>931,308</td> <td>649,317</td> </tr> </tbody> </table>		取得価額相当額 （千円）	減価償却累計額相当額 （千円）	第3四半期会計期間末残高相当額 （千円）	車両運搬具	8,818	2,848	5,970	工具器具備品	1,526,672	926,955	599,717	ソフトウェア	45,135	1,504	43,630	合計	1,580,626	931,308	649,317	<p>(1) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 （借主側）</p> <p>①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額相当額 （千円）</th> <th>減価償却累計額相当額 （千円）</th> <th>期末残高相当額 （千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工具器具備品</td> <td>1,598,942</td> <td>820,442</td> <td>778,499</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,598,942</td> <td>820,442</td> <td>778,499</td> </tr> </tbody> </table>		取得価額相当額 （千円）	減価償却累計額相当額 （千円）	期末残高相当額 （千円）	工具器具備品	1,598,942	820,442	778,499	合計	1,598,942	820,442	778,499
	取得価額相当額 （千円）	減価償却累計額相当額 （千円）	第3四半期会計期間末残高相当額 （千円）																																											
工具器具備品	1,618,670	934,211	684,458																																											
合計	1,618,670	934,211	684,458																																											
	取得価額相当額 （千円）	減価償却累計額相当額 （千円）	第3四半期会計期間末残高相当額 （千円）																																											
車両運搬具	8,818	2,848	5,970																																											
工具器具備品	1,526,672	926,955	599,717																																											
ソフトウェア	45,135	1,504	43,630																																											
合計	1,580,626	931,308	649,317																																											
	取得価額相当額 （千円）	減価償却累計額相当額 （千円）	期末残高相当額 （千円）																																											
工具器具備品	1,598,942	820,442	778,499																																											
合計	1,598,942	820,442	778,499																																											
<p>②未経過リース料第3四半期会計期間末残高相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年内</td> <td>357,546千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>511,187千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>868,734千円</td> </tr> </tbody> </table>	1年内	357,546千円	1年超	511,187千円	合計	868,734千円	<p>②未経過リース料第3四半期会計期間末残高相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年内</td> <td>415,210千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>218,966千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>634,177千円</td> </tr> </tbody> </table>	1年内	415,210千円	1年超	218,966千円	合計	634,177千円	<p>②未経過リース料期末残高相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年内</td> <td>431,531千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>372,849千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>804,380千円</td> </tr> </tbody> </table>	1年内	431,531千円	1年超	372,849千円	合計	804,380千円																										
1年内	357,546千円																																													
1年超	511,187千円																																													
合計	868,734千円																																													
1年内	415,210千円																																													
1年超	218,966千円																																													
合計	634,177千円																																													
1年内	431,531千円																																													
1年超	372,849千円																																													
合計	804,380千円																																													
<p>③支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>支払リース料</td> <td>272,141千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td>303,059千円</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td>26,839千円</td> </tr> </tbody> </table>	支払リース料	272,141千円	減価償却費相当額	303,059千円	支払利息相当額	26,839千円	<p>③支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>支払リース料</td> <td>301,346千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td>243,337千円</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td>16,671千円</td> </tr> </tbody> </table>	支払リース料	301,346千円	減価償却費相当額	243,337千円	支払利息相当額	16,671千円	<p>③支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>支払リース料</td> <td>355,648千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td>320,540千円</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td>33,490千円</td> </tr> </tbody> </table>	支払リース料	355,648千円	減価償却費相当額	320,540千円	支払利息相当額	33,490千円																										
支払リース料	272,141千円																																													
減価償却費相当額	303,059千円																																													
支払利息相当額	26,839千円																																													
支払リース料	301,346千円																																													
減価償却費相当額	243,337千円																																													
支払利息相当額	16,671千円																																													
支払リース料	355,648千円																																													
減価償却費相当額	320,540千円																																													
支払利息相当額	33,490千円																																													
<p>④減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。</p>	<p>④減価償却費相当額の算定方法 同左</p>	<p>④減価償却費相当額の算定方法 同左</p>																																												
<p>⑤利息相当額の算定方法 リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。</p>	<p>⑤利息相当額の算定方法 同左</p>	<p>⑤利息相当額の算定方法 同左</p>																																												
<p>(2) オペレーティング・リース取引 （借主側）</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>未経過リース料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年内</td> <td>78,000千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>130,000千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>208,000千円</td> </tr> </tbody> </table>	未経過リース料		1年内	78,000千円	1年超	130,000千円	合計	208,000千円	<p>(2) オペレーティング・リース取引 （借主側）</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>未経過リース料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年内</td> <td>78,000千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>52,000千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>130,000千円</td> </tr> </tbody> </table>	未経過リース料		1年内	78,000千円	1年超	52,000千円	合計	130,000千円	<p>(2) オペレーティング・リース取引 （借主側）</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>未経過リース料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年内</td> <td>78,000千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>110,500千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>188,500千円</td> </tr> </tbody> </table>	未経過リース料		1年内	78,000千円	1年超	110,500千円	合計	188,500千円																				
未経過リース料																																														
1年内	78,000千円																																													
1年超	130,000千円																																													
合計	208,000千円																																													
未経過リース料																																														
1年内	78,000千円																																													
1年超	52,000千円																																													
合計	130,000千円																																													
未経過リース料																																														
1年内	78,000千円																																													
1年超	110,500千円																																													
合計	188,500千円																																													

前第3四半期会計期間 (自平成18年9月1日 至平成19年5月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成19年9月1日 至平成20年5月31日)	前事業年度 (自平成18年9月1日 至平成19年8月31日)																																				
(3)リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (貸主側) ①リース物件の取得価額、減価償却累計額及び第3四半期会計期間末残高	(3)リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (貸主側) ①リース物件の取得価額、減価償却累計額及び第3四半期会計期間末残高	(3)リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (貸主側) ①リース物件の取得価額、減価償却累計額及び期末残高																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額 (千円)</th> <th>減価償却累計額 (千円)</th> <th>第3四半期会計期間末残高 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工具器具備品</td> <td>71,607</td> <td>20,821</td> <td>50,785</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>71,607</td> <td>20,821</td> <td>50,785</td> </tr> </tbody> </table>		取得価額 (千円)	減価償却累計額 (千円)	第3四半期会計期間末残高 (千円)	工具器具備品	71,607	20,821	50,785	合計	71,607	20,821	50,785	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額 (千円)</th> <th>減価償却累計額 (千円)</th> <th>第3四半期会計期間末残高 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工具器具備品</td> <td>75,458</td> <td>39,875</td> <td>35,583</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>75,458</td> <td>39,875</td> <td>35,583</td> </tr> </tbody> </table>		取得価額 (千円)	減価償却累計額 (千円)	第3四半期会計期間末残高 (千円)	工具器具備品	75,458	39,875	35,583	合計	75,458	39,875	35,583	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額 (千円)</th> <th>減価償却累計額 (千円)</th> <th>期末残高 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工具器具備品</td> <td>70,169</td> <td>25,195</td> <td>44,973</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>70,169</td> <td>25,195</td> <td>44,973</td> </tr> </tbody> </table>		取得価額 (千円)	減価償却累計額 (千円)	期末残高 (千円)	工具器具備品	70,169	25,195	44,973	合計	70,169	25,195	44,973
	取得価額 (千円)	減価償却累計額 (千円)	第3四半期会計期間末残高 (千円)																																			
工具器具備品	71,607	20,821	50,785																																			
合計	71,607	20,821	50,785																																			
	取得価額 (千円)	減価償却累計額 (千円)	第3四半期会計期間末残高 (千円)																																			
工具器具備品	75,458	39,875	35,583																																			
合計	75,458	39,875	35,583																																			
	取得価額 (千円)	減価償却累計額 (千円)	期末残高 (千円)																																			
工具器具備品	70,169	25,195	44,973																																			
合計	70,169	25,195	44,973																																			
②未経過リース料第3四半期会計期間末残高相当額 1年内 18,884千円 1年超 36,608千円 合計 55,492千円	②未経過リース料第3四半期会計期間末残高相当額 1年内 24,106千円 1年超 16,404千円 合計 40,511千円	②未経過リース料期末残高相当額 1年内 19,476千円 1年超 30,344千円 合計 49,820千円																																				
③受取リース料、減価償却費及び受取利息相当額 受取リース料 16,137千円 減価償却費 11,720千円 受取利息相当額 6,278千円	③受取リース料、減価償却費及び受取利息相当額 受取リース料 20,976千円 減価償却費 14,679千円 受取利息相当額 6,379千円	③受取リース料、減価償却費及び受取利息相当額 受取リース料 22,831千円 減価償却費 16,094千円 受取利息相当額 8,738千円																																				
④利息相当額の算定方法 リース料総額と見積残存価額の合計額からリース物件の購入価額を控除した額を利息相当額とし、各期への配分は利息法によっております。	④利息相当額の算定方法 同左	④利息相当額の算定方法 同左																																				

(有価証券関係)

前第3四半期会計期間末(平成19年5月31日現在)

子会社株式で時価のあるものはありません。

当第3四半期会計期間末(平成20年5月31日現在)

子会社株式で時価のあるものはありません。

前事業年度末(平成19年8月31日現在)

子会社株式で時価のあるものはありません。

(1株当たり情報)

四半期連結財務諸表を作成しているため、1株当たり情報は記載しておりません。

（重要な後発事象）

前第3四半期会計期間 （自 平成18年9月1日 至 平成19年5月31日）	当第3四半期会計期間 （自 平成19年9月1日 至 平成20年5月31日）	前事業年度 （自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日）
	<p>会社分割</p> <p>当社は、平成20年3月25日開催の取締役会において、当社の100%子会社である（株）クリエイト・ユーに対し、平成20年6月1日をもって、当社のまんが喫茶（複合カフェ）運営事業を会社分割（吸収分割）により承継させることを決議いたしました。</p> <p>なお吸収分割は、平成20年6月1日に実施しております。</p> <p>（1）目的</p> <p>当社グループにおける「まんが喫茶（複合カフェ）運営事業」は「アジュールエッセ」、「まんが帝国」等の店舗名で8店舗を運営しており、当社が運営する4店舗と連結子会社である（株）クリエイト・ユーが運営する4店舗で構成されております。</p> <p>この度の会社分割は、当事業を（株）クリエイト・ユーに集約することで、これまで以上に迅速かつ適切に意思決定ができる体制の整備と事業運営の効率化を通じて、当社グループ全体の収益拡大を図ることを目的としております。</p> <p>（2）分割の日程</p> <p>吸収分割決議 平成20年3月25日 取締役会 吸収分割 平成20年3月26日 契約締結 分割期日 平成20年6月1日 （効力発生日）</p> <p>（3）分割の形態</p> <p>当社を分割会社とし、（株）クリエイト・ユーを承継会社とする吸収分割（簡易分割）</p> <p>（4）株式の割当て</p> <p>承継会社は分割に際して普通株式1株を発行し、これをすべて当社に割り当てます。</p> <p>（5）株式割当比率の算定根拠</p> <p>本分割前後で当社の承継会社に対する持株比率が変化せず、かつ、当社の純資産の額が変動しないことから、両者協議の上、割当株数を決定いたしました。</p> <p>（6）承継会社が承継する権利義務</p> <p>本分割において、当社から（株）クリエイト・ユーに承継される権利義務は、吸収分割契約書に別段の合意がなされたものを除き、平成19年8月31日現在の貸借対照表その他同日現在の計算を基礎とし、これに本件分割の効力発生日の前日までの増減を加除した資産、負債及び権利義務といたします。なお、債務の承継は重畳的債務引受の方法によるものといたします。</p>	

前第3四半期会計期間 (自 平成18年9月1日 至 平成19年5月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成19年9月1日 至 平成20年5月31日)	前事業年度 (自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日)
	<p>(7) 分割する事業の概要</p> <p>①分割する部門の内容 まんが喫茶(複合カフェ)</p> <p>②分割する部門の平成19年8月期における主な経営成績 売上高 159,060千円</p> <p>③分割する資産、負債の項目及び金額 (平成19年8月31日現在)</p> <p>流動資産 1,012千円 固定資産 59,031千円 資産合計 60,044千円 流動負債 ー千円 固定負債 ー千円 負債合計 ー千円</p> <p>(8) 承継会社の概要 (平成19年8月31日現在)</p> <p>商号 (株)クリエイト・ユー 事業内容 まんが喫茶(複合カフェ)の店舗運営 設立年月日 昭和63年5月6日 本店所在地 東京都目黒区中目黒二丁目6番20号 代表者の代表取締役社長 役職・氏名 日野洋一 発行済株式数 400株 資本金 20,000千円 純資産 81,780千円(単体) 総資産 120,986千円(単体) 決算期 8月31日</p> <p>(9) 実施する会計処理の概要 本分割は、共通支配下の取引に該当するため、移転事業に係る資産及び負債の分割効力発生日の前日における適正な帳簿価額に基づく株主資本相当額を株式の取得価額といたします。したがって、この取引が損益に与える影響はありません。</p>	